

JVC

液晶マルチフォーマットモニター

DT-V24G2

DT-V21G2

DT-V17G2

DT-V17G25

取扱説明書



イラストはDT-V21G2です

お買い上げありがとうございます。

ご使用前にこの「取扱説明書」と別冊の「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

特に「安全上のご注意」は、必ずお読みいただき、安全にお使いください。

HDMI[®]
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

B5A-1244-00

目次

安全上のご注意 (必ずお守りください)	2	メニューの遷移図	10
使用上のご注意	3	メインメニューの設定	11
長時間のご使用について	3	セットアップメニューの設定	15
高温でのご使用について	3	外部制御	20
お手入れのしかた	4	外部制御の概要	20
設置	4	MAKE/TRIGGER 方式での外部制御	20
各部の名称とはたらき	5	シリアル方式での外部制御	21
背面	5	困ったときは	23
正面	6	自己診断表示について	24
入力信号の表示	8	仕様	25
音声チャンネルの選択	8	一般	25
情報表示について	8	液晶パネル	25
ステータス表示について	8	入出力端子	25
メニューの設定	9	外形寸法図 (単位 : mm)	26
はじめて電源を入れたときの設定画面について	9	対応信号フォーマット	27
メニューの操作	9	保証とアフターサービス	裏表紙

この製品はクラスA情報技術装置です。住宅環境で使用する場合は、電波障害を発生させる恐れがあります。その際、この製品の利用者は、適切な手段を講ずることが必要とされることがあります。

この商品は、放送局などの限定された環境で、専任者により取り扱われることを前提としています。専門知識を持ったかたが操作してください。

商標・モデル名・電源定格等は、ラベルに記載し、本体底面または背面に貼り付けてあります。

安全上のご注意 (必ずお守りください)

- ご使用になるかたや他の人々への危害や損害を防ぐために、必ず守っていただきたいことを説明しています。
- ご使用の前に、別紙の「安全上のご注意」もよくお読みのうえ、正しくお使いください。

警告 「人が死亡、または重傷を負うことが想定される」内容

絵表示の説明

禁止されていること



禁止 分解禁止 ぬれ手禁止 水場での使用禁止

注意 「人が軽傷を負ったり、物的損害が想定される」内容

注意、警告が必要なこと



一般的注意 感電注意 ケガに注意 手を挟まれないよう注意 アース線をつなぐ

実行して欲しいこと



プラグをコンセントから抜く

警告

表示された電源電圧(AC 100VまたはDC 12V~17V)以外で使用しない。



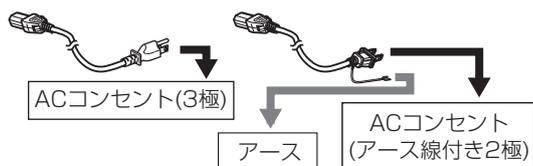
禁止

安全アースを接続する。

安全アースを接続しないと感電の原因となることがあります。



アース線をつなぐ



- ACコンセントが3極の場合
付属の電源コード(3極)を接続すると、安全アースも接続されます。
- ACコンセントが2極の場合
付属の電源コード(アース線付き2極)のプラグから出ている緑色のアース線を、建物に備えられているアース端子につないでください。アース接続は必ず電源プラグをコンセントにつなぐ前に行なってください。また、アース接続をはずす場合は必ず電源プラグをコンセントからはずしてから行なってください。

動作使用条件(温度、湿度)に注意して設置する。

動作使用条件の範囲内で設置するようにしてください。
(☞ 25ページ「動作使用条件」)本機は熱を帯びる構造になっています。取り扱いには十分気をつけてください。



一般的注意



次のことが起こった場合は

- 煙が出ている、異臭がする。
- 落下などにより破損した。
- 映像が映らない、音が出ない。
- 電源コードが傷んだ。
- 内部に水や物が入った。

電源を切る。

電源プラグをコンセントから抜く。

そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。販売店に修理を依頼してください。



安全上のご注意 (つづき)

⚠ 注意

電源プラグはコンセントの根元まで確実に差し込む。



一般的注意

付属の電源コード以外は使用しない。



禁止

付属の電源コードを他の機器に使用しない。



禁止

電源コードを抜くときは、壁側のコンセントから先に抜く。



プラグを
コンセント
から抜く

AC電源のオン/オフについて

本機は背面のPOWERスイッチでAC電源をオン/オフします。背面のPOWERスイッチをオン/オフできないところに設置した場合は、電源プラグを抜き差ししてAC電源をオン/オフしてください。そのとき、本機をできるだけコンセントの近くに設置し、電源プラグを抜き差しするのに十分な空間を確保してください。確保できないときは、簡単にAC電源をオン/オフできる遮断装置を屋内の配線に設置してください。



一般的注意

液晶パネルに衝撃を与えない(ものを当てたり、先の尖ったもので突いたりしない)。



禁止

5年に1度は内部の点検を販売店に依頼する。



一般的注意

液晶ディスプレイが破損し、液状の内容物が流出して皮膚に付着した場合は、流水で15分以上洗浄してください。その後、医師に相談してください。



一般的注意

スタンドに設置するときは、転倒・落下防止の処置をする。

地震や不慮の事故などで、本機が倒れたり、設置場所から落下したりすると、本機が破損するだけでなく、けがや感電の原因となることがあり、大変危険です。

スタンドに設置するときは、転倒・落下を防止するための処置をしてください。



一般的注意

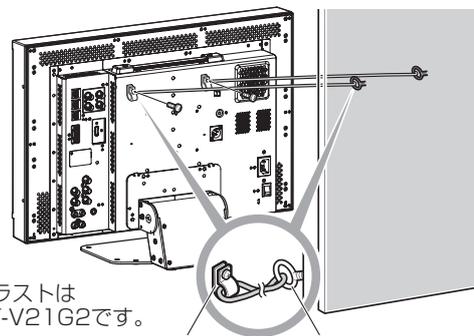
参考例: 転倒・落下防止のために

本機をひもで壁に固定することで、転倒・落下を防止することができます。

固定のしかた

本機背面にあるVESAマウント穴のうち上側の2個に、市販のフックとネジ(M4、長さ10mm)を取り付けます。取り付けたフックに市販の丈夫なひもを結び、壁面や柱などの堅牢部に固定します。

転倒・落下防止処置を行う場合、壁や柱の強度によっては、その効果が大幅に減少します。その場合は、適当な補強を施してください。また、転倒・落下防止処置は、けがなどの危害の軽減を意図するものですが、すべての地震に対してその効果を保証するものではありません。



イラストはDT-V21G2です。

市販のフックとネジ(M4、長さ10mm)

市販のフック

使用上のご注意

液晶パネルおよびバックライトは、有寿命部品です。液晶パネルの基本的な特性により、残像(焼きつき)や表示ムラが発生することがあります。画像を時々切り換えたり、「Power Save」(省電力モード)にする、こまめに電源を切るなどして、液晶パネルへの負荷を軽減させることをおすすめします。液晶パネルの連続稼働は、劣化を早めることがあります。

● 長時間のご使用について

本機を長時間連続で使用する場合は、電力消費および機器の負担を軽減するために、「Main Menu」→「Sync Function」→「No Sync Action」を「Power Save」に設定することをおすすめします。(☞ 15ページ) また、液晶パネルへの負担を軽減するために、「LCD Saver」機能を使用されることをおすすめします。(☞ 16ページ)

● 高温でのご使用について

高温の場所で使用しないでください。液晶パネルや本機の部品が故障することがあります。また、本機の内部には温度センサーがあります。通常使用範囲以上の温度になると、「Temp. Over」と表示されます。さらに温度が上がると電源が自動的に切れます。このような場合は、一度温度の低い場所で冷ましてください。

使用上のご注意 (つづき)

● お手入れのしかた

液晶パネル

画面に「ムラ」「変色」「キズ」など、修理不可能な外観変化が生じる恐れがありますので、次のことに注意してください。

- のりやテープなどをはらない
- ペンなどで書き込みをしない
- 硬いものにぶつけない
- 結露させない
- アルコール、シンナー、ベンジンなどの溶剤でふかない
- 強くこすらない

液晶パネルの汚れを取り除くときには、柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどい場合は、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布でからぶきしてください。

キャビネット

キャビネットが変質したり、傷ついたり、塗料がはげることがありますので、次のことに注意してください。

- アルコール、シンナー、ベンジンなどの溶剤でふかない
- 殺虫剤など揮発性のものをかけない
- ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしない
- 強くこすらない

キャビネットの汚れを取り除くときには、柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどい場合は、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布でからぶきしてください。

通気孔

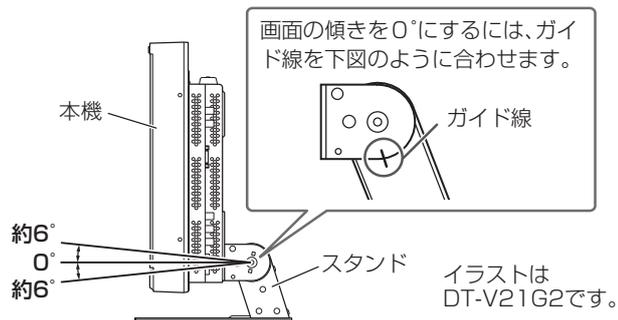
通気孔に付着したほこりは、掃除機を使って吸い取ってください。掃除機が使えないときには、布でふき取ってください。通気孔にほこりが付着したまま放置すると、内部の温度が調節できなくなり、故障の原因となることがあります。

設置

- 本機に肘をかけたり、寄りかかったりしないでください。
- 設置するときに、液晶パネルに触れないでください。
- 取り付けが不完全だと、本機が落下するなどして、けがや故障などの原因となります。

● 設置方法 1

下図の範囲で画面の傾きを調節できます。

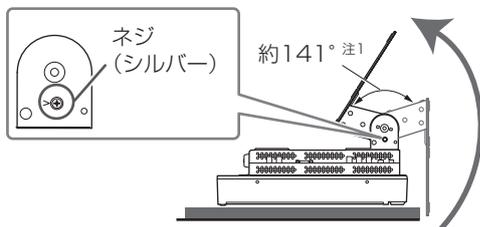


- 画面を傾げるときに、モニター本体とスタンドの間に指をはさまないように注意してください。

● 設置方法 2

下図のように置くこともできます。

- 1 スタンドの側面から下図のネジをはずし、スタンドを上に戻す。



^{注1} DT-V24G2のみ約148°です。

- 2 ネジを再度取り付けてから、下図のように設置する。



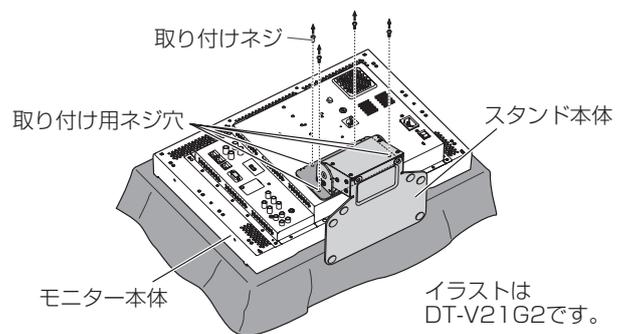
- 設置方法1に戻す場合は、スタンドの側面からネジをはずし、ガイド線を合わせて、ネジを再度取り付けてください。

ご注意

- スタンドを起こすときは…
 - 液晶パネルを傷つけないように、布などを敷いて行なってください。
 - 可動部に指をはさまないように注意してください。
- 転倒の原因となりますので、モニター本体が垂直になるように置いてください。
- スタンドの金属部分で設置面が傷つかないように、マットなどを敷いてから置いてください。

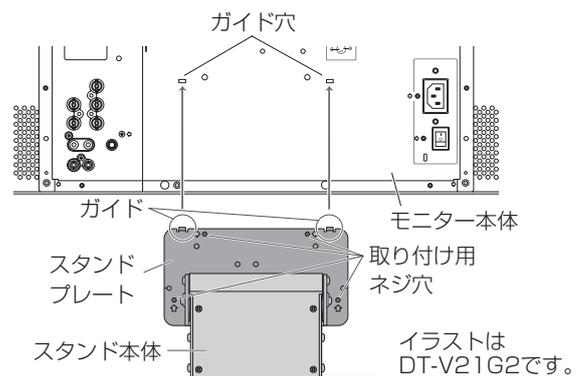
● スタンドの取りはずし

液晶パネルを傷つけないように、布などを敷いて行なってください。



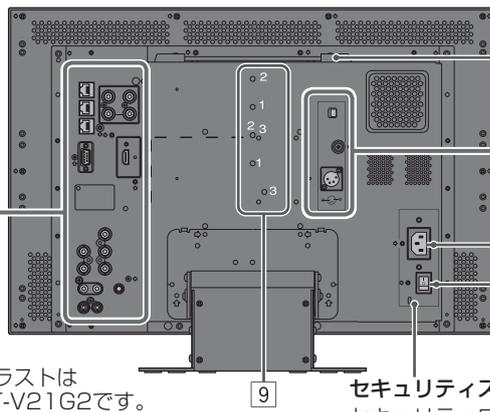
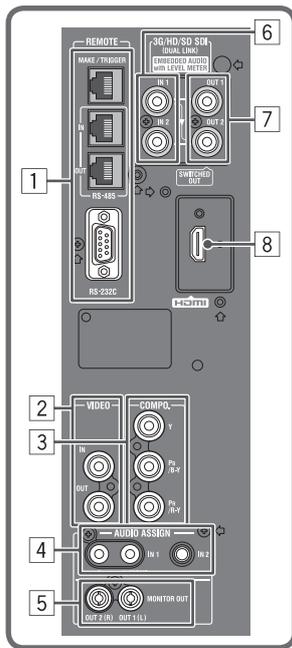
● スタンドの取り付け

スタンドを取り付けるときは、必ず事前にスタンドプレートのガイドをモニター本体のガイド穴に奥まで入れて、スタンドの位置合わせをします。その後、取り付けネジで固定してください。

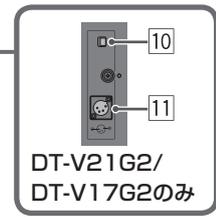


各部の名称とはたらき

背面



キャリングハンドル(DT-V21G2/
DT-V17G2/DT-V17G25のみ)
持ち運ぶときに使用します。



イラストは
DT-V21G2です。

セキュリティスロット
セキュリティワイヤーを取り付けます。

接続するときのご注意

- 本機と接続する機器の電源を切ってから接続を行なってください。
- 接続ケーブルは、それぞれの端子の形状に合った正しいものをえらんでください。
- プラグはしっかり差し込んでください。接続が悪いと、映像の乱れや雑音の原因となります。
- コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。
- 電源プラグは、すべての接続が終わってから接続してください。
- 接続する機器の取扱説明書もご覧ください。

1 REMOTE端子

本機を外部から制御するための端子です。(☞ 20ページ「外部制御」)

2 VIDEO端子(BNC)

コンポジット映像信号の入出力端子です。

3 COMPO.(Y、PB/B-Y、PR/R-Y)端子(BNC)

アナログコンポーネント(色差)映像信号の入力端子です。

4 AUDIO ASSIGN(IN1、IN2)端子(IN 1:ピンジャック、IN 2:Φ3.5 mm)

アナログ音声信号の入力端子です。

- SDIのアナログ音声信号の場合は、この端子に入力します。EMBEDDED AUDIO信号が重畳したSDI信号が入力されている場合、アナログ音声信号は入力できません。

5 AUDIO ASSIGN(MONITOR OUT)端子(ピンジャック)

アナログ音声信号の出力端子です。

- モニターがオンまたは「Power Save」(省電力モード) (☞ 15ページ「No Sync Action」)のときのみ出力されます。
- EMBEDDED AUDIO信号は...
 - アナログ音声信号にデコードして出力されます。
 - SDI入力(SDI 1またはSDI 2)がえらばれ、3G/HD/SD SDI入力端子(IN 1またはIN 2)にEMBEDDED AUDIO信号が入力されているときのみ出力されます。
- HDMI端子の音声信号は、HDCPでプロテクトされていないときのみ出力されます。
 - HDCPでプロテクトされていてもスピーカーへは出力されません。

6 3G/HD/SD SDI(IN 1、IN 2)端子(BNC)

3G/HD/SD SDI信号の入力端子です。

- サンプリング周波数48 kHz、1~16チャンネルのEMBEDDED AUDIO信号にも対応します。
- DUAL LINK SDI入力の場合は両端子を使用します。
 - リンクAはIN 1に、リンクBはIN 2に入れてください。

7 3G/HD/SD SDI(OUT 1、OUT 2:SWITCHED OUT)端子(BNC)

3G/HD/SD SDI信号の出力端子です。

- SDI OUT 1の出力は、SDI IN 1の信号が出力されます。
- SDI OUT 2の出力は、メインメニューのSDI2 OUT SELで設定します。(☞ 12ページ「Signal Setting」)
- SDI入力以外の入力に切り換えたときは、最後にえらんだSDI入力(SDI 1またはSDI 2)の信号が出力されます。
- モニターがオンまたは「Power Save」(省電力モード) (☞ 15ページ)のときのみ出力されます。

8 HDMI端子

HDCP対応のHDMI信号の入力端子です。

9 外部バッテリー取り付け用ネジ穴(DT-V21G2/DT-V17G2のみ)

DC電源のための外部バッテリーを取り付けるネジ穴です。1、2、3のネジ穴のうちいずれかの穴(各2カ所)を使用して取り付けます。(バッテリーの種類によって異なります。)推奨バッテリー:Anton Bauer製Dionic 90(マウント:QR DXC-M3A)

☞注意:24Vのバッテリーは使用できません。

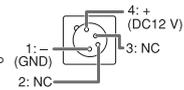
上記推奨バッテリー以外の重いバッテリーを取り付けると、モニターの使用状況によっては落下することがあります。

10 DCスイッチ(DT-V21G2/DT-V17G2のみ)

DC電源をオン/オフします。

- DCスイッチをオンにしても、 /  ボタン(☞ 7ページ 20)をオンにしないとモニターは動作しません。
- モニターがオフ(スタンバイ)のときでも、バッテリーはわずかですが消耗します。バッテリーの無駄な消耗を抑えるには、DCスイッチをオフにしてください。

11 DC IN端子(DT-V21G2/DT-V17G2のみ)

DC 12V電源(最大DC 17V)の入力端子です。

DC 12V電源(最大DC 17V)使用時は、DC IN 端子のピン番号と信号を確認し、極性を正しくしてください。逆に接続すると、火災やけがの原因となることがあります。

- AC電源とDC電源を両方接続しているときは、AC電源が優先されます。POWERスイッチをオフにするなどしてAC電源が切れると、DC電源に自動的に切り換わります。
- LPS(Limited Power Sources:制限動力源)機能をもったDC電源を使用してください。

12 AC IN端子

AC電源の入力端子です。付属の電源コード(3極または2極)を接続します。

- 付属の電源コードホルダーを取り付けて、プラグが抜けないように固定できます。(☞ 24ページ)
- 2ページの「安全上のご注意(安全アースを接続する。)」をよくご覧ください。

☞注意:すべての機器の接続が終わってから、電源プラグを接続してください。

13 POWERスイッチ

AC電源をオン/オフします。

- POWERスイッチをオンにしても、 /  ボタン(☞ 7ページ 20)をオンにしないとモニターは動作しません。

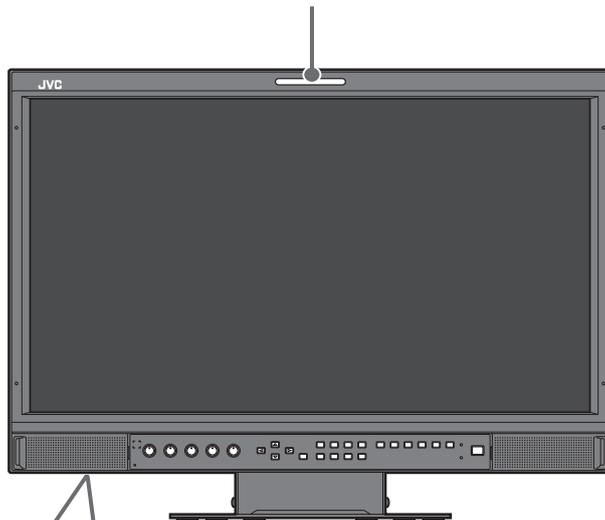
各部の名称とはたらき (つづき)

正面

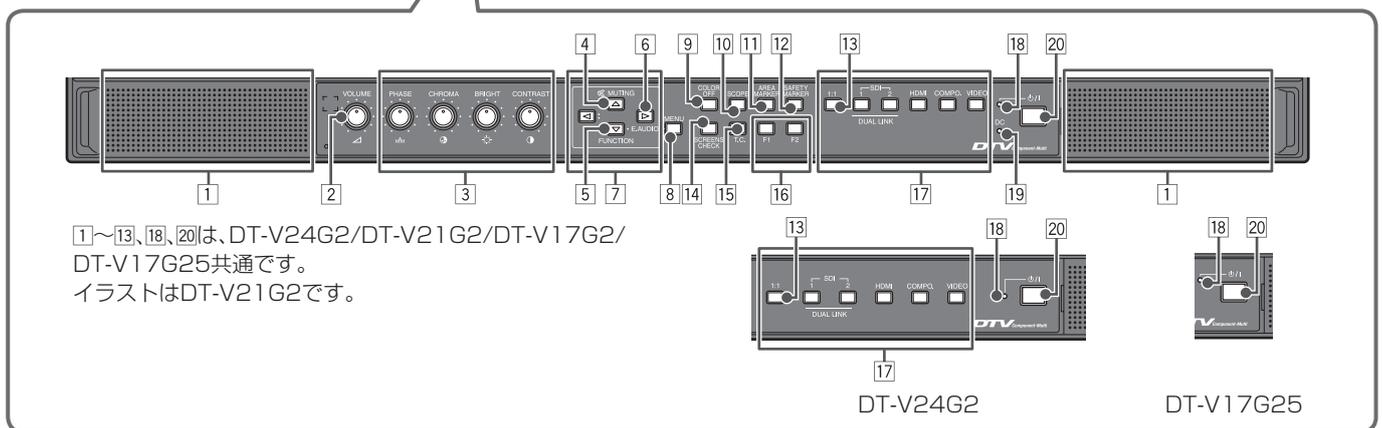
タリーランプ

MAKE/TRIGGER端子で点灯を制御します。

- 点灯色は「Green」、「Red」のいずれかをえらぶことができます。
また、ランプ全体を点灯させるか、半分ずつ点灯させるかえらぶことができます。
(※ 15ページ「Tally Setting」、※ 20ページ「外部制御」)



イラストはDT-V21G2です。



1~13、18、20は、DT-V24G2/DT-V21G2/DT-V17G2/
DT-V17G25共通です。
イラストはDT-V21G2です。

- えらんでいる入力や信号フォーマットに対して機能しないボタンを押したときは、「No Effect」と表示されます。
(機能しないときでも、ランプは点灯します)
- MAKE方式で外部制御している機能は、ボタンでは操作できません。(「Remote On」と表示され、ランプも点灯しません)

1 スピーカー(ステレオ)

AUDIO ASSIGN(MONITOR OUT)端子から出力される音声信号と同じ音声を出力します。(※ 5ページ 5 AUDIO ASSIGN(MONITOR OUT)端子)

2 VOLUME調節ノブ

スピーカーの音量を調節します。

3 映像調節ノブ

- PHASE:** 映像の色あい(色相)を調節
CHROMA: 映像の色の濃さを調節
BRIGHT: 映像の明るさを調節
CONTRAST: 映像のコントラストを調節
- PHASE調節、CHROMA調節は信号フォーマットによっては働きません。
 - 「Component Phase」を「Disable」に設定しているとき、PHASE調節はNTSC信号以外では働きません。
(※ 16ページ)

4 MUTINGボタン

- スピーカーの音を消音設定します(ミュート)。
- 解除するには、もう一度押すか、VOLUME調節ノブを回します。
 - メインメニューの「Audio Setting」の「Balance」を変更しても解除されず。(※ 13ページ)
 - メニューが表示されているときは、MUTINGボタンによる消音設定の変更はできません。

5 FUNCTIONボタン

メニューが表示されていないときにF1ボタン/F2ボタンの機能を設定します。(※ 16ページ)

6 EMBEDDED AUDIO設定ボタン

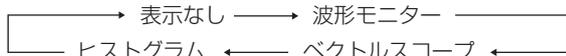
SDI入力時にEMBEDDED AUDIO信号が含まれる場合に音声チャンネルを選択します。(※ 8ページ「音声チャンネルの選択」)

- 7 **◀/▶/△/▽ ボタン**
メニューが表示されているときに項目を選択または調節します。
(☞ 9ページ「メニューの操作」)
●▽ ボタンを押しながら◀ ボタンを押すと、セットアップメニューが表示されます。(☞ 9ページ「メニューの操作」)

- 8 **MENUボタン**
メインメニューの表示/非表示を切り換えます。(☞ 9ページ「メニューの操作」)

- 9 **COLOR OFFボタン/ランプ**
輝度信号のみの映像にします。
●RGB信号には働きません。

- 10 **SCOPEボタン/ランプ**
波形モニターとベクトルスコープの表示/非表示を切り換えます。
(☞ 14ページ「Scope Setting」)
●ボタンを押すごとに、ウィンドウが次のように切り換わります。



- 11 **AREA MARKERボタン/ランプ**
エリアマーカーの表示/非表示を切り換えます。
●エリアマーカーはメインメニューの「Marker」で設定します。
(☞ 12ページ)
●16:9表示のときのみ働きます。
●「Marker」の「Area Marker」または「R-Area Marker」を「Off」に設定しているときは働きません。

- 12 **SAFETY MARKERボタン/ランプ**
セーフティマーカーの表示/非表示を切り換えます。
●セーフティマーカーはメニューの「Marker」で設定します。
(☞ 12ページ)
●1:1表示およびメニューの「SD4:3 Size」が「H Full」のときは働きません。
●「Marker」の「Safety Marker」または「R-Safety Marker」を「Off」に設定しているときは働きません。

- 13 **1:1ボタン/ランプ**
入力信号の解像度と同じ解像度(等倍)で映像を表示します。
●入力信号によって、アスペクト比が変わることがあります。

- 14 **SCREENS CHECKボタン/ランプ**
R、G、B信号成分を単体で表示します。
●RGB信号には働きません。
●ボタンを押すごとに、映像が次のように切り換わります。



- 15 **T.C.ボタン/ランプ**
SDI信号に含まれている時間データ(タイムコード)の表示/非表示を切り換えます。(☞ 8ページ「情報表示について」)
●タイムコードはセットアップメニューの「Information」で設定します。(☞ 17ページ)

- 16 **F1ボタン/F2ボタン/ランプ**
このボタンに設定したメニュー内の機能が動作します。

- 17 **INPUT SELECTボタン/ランプ**
入力を選択します。
SDI 1: 3G/HD/SD SDI(IN 1)端子からの入力
SDI 2: 3G/HD/SD SDI(IN 2)端子からの入力
DUAL LINK: 3G/HD/SD SDI(IN 1、IN 2)端子からの入力
HDMI: HDMI端子からの入力
COMPO.: COMPO. 端子からの入力
VIDEO: VIDEO端子からの入力
●えらんでいる入力のランプが点灯します。

- 18 **電源ランプ**
消灯: 電源が完全に切れている状態(背面のPOWERスイッチがオフ) または Low Power Mode(低消費電力モード)(☞ 19ページ)に入っている状態
緑色: モニターがオン
オレンジ色: モニターがオフ(スタンバイ)
オレンジ色点滅: Power Save(省電力)モード(☞ 15ページ「No Sync Action」)

- 19 **DCランプ(DT-V21G2/DT-V17G2のみ)**
DC電源を使用しているときに、電圧の状態を示します。
緑色: 電圧が十分に高い
オレンジ色: バッテリーの残量減少などが原因で、電圧が低い
赤色: さらに電圧が低く、使用できない
●使用中にDCランプがオレンジ色から赤色に変わると、自動的に電源が切れます。
●バッテリーを交換するときは、必ず背面のPOWERスイッチ(☞ 5ページ 13)とDCスイッチ(☞ 5ページ 10)をオフにしてください。
●バッテリーの種類や消耗状態によって、オレンジ色で表示される時間は異なります。表示がオレンジ色に変わったら、早めにバッテリーを交換してください。

- 20 **⏻/⏷ ボタン**
モニターのオン/オフ(スタンバイ)を切り換えます。
●完全に電源を切るためには、背面のPOWERスイッチ(☞ 5ページ 13)とDCスイッチ(☞ 5ページ 10)をオフにします。

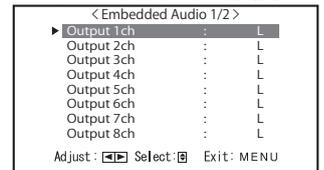
入力信号の表示

音声チャンネルの選択

SDI入力で、EMBEDDED AUDIO信号が入力されているとき、スピーカーとAUDIO ASSIGN(MONITOR OUT)のOUT1(L)/OUT2(R)端子から出力する音声チャンネルをえらびます。

- SDI 1とSDI 2のそれぞれの入力ごとに記憶されます。
- 1 メニューを表示していないときに▷ ボタンを押す
「Embedded Audio」画面が表示されます。
 - 「Embedded Audio」画面は、約30秒間にも操作しないと、自動的に消えます。
 - 2 △▽ ボタンで音声チャンネルをえらぶ
 - 3 ◁▷ ボタンで左右(L ch/R ch/L ch+R ch)をえらぶ
 - ボタンを押すごとに、「Embedded Audio ch Setting」と同様に音声チャンネルが切り換わります。
(☞ 13ページ)
 - 4 MENUボタンを押す
 - 「Embedded Audio」画面が消えます。

Embedded Audio画面

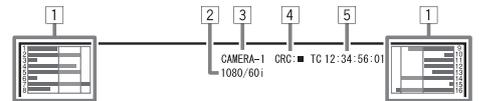


情報表示について

入力に関して、以下の情報が表示されます。

- 各情報の表示/非表示は、メニューで設定します。[5]のみ、T.C.ボタン(☞ 7ページ [15])で設定します。

- 1 レベルメーター
 - 「Level Meter Display」を「Horizontal 1」、「Horizontal 2」または「Vertical」に設定すると EMBEDDED AUDIO信号の状態を確認することができます。(☞ 13ページ「Audio Setting」)
 - 「Audio Meter Display」が「Off」または「Lissajous」のときは表示されません。
- 2 信号フォーマット
 - 「Status Display」が「On」のとき表示されます。(☞ 17ページ「Information」)
 - 表示内容については、27ページの「対応信号フォーマット」および下記の「信号フォーマットについて」をご覧ください。
- 3 「Character Setting」(☞ 17ページ「Information」)で登録した入力映像ソース名
 - 「Source ID」が「On」または「Auto」のとき表示されます。(☞ 17ページ「Information」)
 - 「Status Display」が「Off」または「Auto」のときは、大きな文字で表示されます。
- 4 CRCエラー表示
 - 「CRC Error」が「On」のとき表示されます。(☞ 17ページ「Information」)
 - エラーが発生したときは、赤い四角が表示されます。
- 5 タイムコード
 - T.C.ボタン(☞ 7ページ [15])を押して表示させます。
 - 入力信号にタイムコードが含まれていないときは、「TC ---:---:---:---」と表示されます。(☞ 17ページ「Information」)

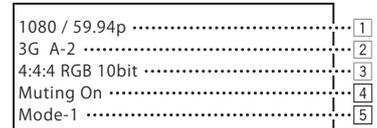


ステータス表示について

現在ランプが点灯しているINPUT SELECTボタン(☞ 7ページ [17])を押すと、入力信号のステータスとMUTING(消音)の設定状態が約3秒間表示されます。

- ステータスの表示/非表示は、「Information」の「Status Display」で設定します。(☞ 17ページ)
- 「Status Display」を「Auto」または「On」に設定すると、次の場合にもステータスが表示されます。
 - 入力を切り換えたとき
 - 現在えらんでいる入力の信号の状態が変わったとき
 - モニターをオンにしたとき
- 「Status Display」を「On」に設定したときは、ステータスが表示されてから3秒後に、信号フォーマット、「Picture Memory Mode」が表示されます。また、「Picture Memory Mode」の表示が「Off」の場合は表示されません。

- 1 信号フォーマット
 - 表示内容については、27ページの「対応信号フォーマット」および下記の「信号フォーマットについて」をご覧ください。



信号フォーマットについて

入力信号の種類や状態により、下記の内容が表示されます。

HDMI入力で、HDCP対応の信号が入力されたとき

→ 信号フォーマットの表示の一番後ろに「*」が付きます。

映像信号が入力されていないとき

→ 「No Sync」と表示されます。

本機で対応していない映像信号が入力されたとき

→ 「Out of range」と表示されます。

- 2 HDMI入力およびVIDEO/COMPONENT入力時の信号形式

DUAL LINK設定表示/3G SDI信号情報表示

- SDI 入力の際に、メインメニューの「Dual Link」(☞ 12ページ)が「On」の状態では「DUAL LINK」と表示し、「Dual Link」が「Off」の状態では、3G SDI 信号が入力されたときは3G SDI信号情報が表示されます。

3G SDI 信号情報表示

3G SDI 入力時に表示できる入力信号は以下の通りです。

3G A-1:	レベルA	マッピングストラクチャー1	3G B-DS1:	レベルB	データストリーム1
3G A-2:	レベルA	マッピングストラクチャー2	3G B-DS2:	レベルB	データストリーム2
3G A-3:	レベルA	マッピングストラクチャー3	3G B-DUAL:	レベルB	DUAL LINK
3G A-4:	レベルA	マッピングストラクチャー4			

- 3 3G SDI/HD-SDI DUAL LINK信号入力時の詳細情報表示
 - 信号フォーマットのサンプリング構造/ピクセル分解能が表示されます。
 - 3G SDI信号またはHD-SDI DUAL LINK信号が入力されたときのみ表示されます。
- 4 MUTING(消音)の設定状態
 - 消音時のみ表示されます。(☞ 6ページ [4])
- 5 Picture Memory Modeの表示
 - Mode-1、Mode-2、Mode-3が表示されます。(☞ 11ページ)

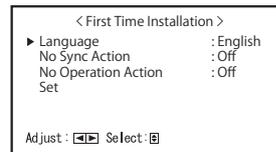
メニューの設定

はじめて電源を入れたときの設定画面について

はじめて電源を入れたときに「Language」「No Sync Action」「No Operation Action」の設定をするウィザードが表示されます。メニューの設定を参考にして、これらの設定をおこなってください。

各項目の設定値に関しては下記ページをご覧ください。

- 「Language」 18ページ「Language」
- 「No Sync Action」 15ページ「Sync Function」
- 「No Operation Action」 15ページ「No Operation Action」



設定のしかた

- △▽ボタンを押してカーソルを設定する項目に移動させる
- ◀▶ボタンを押して設定値をえらぶ
 - ボタンを押すごとに設定値が切り換わります。
- カーソルを「Set」に移動させる
- ▶ボタンを押して設定を終了させる

- 一度設定すると次回からは表示されません。
- 設定した内容は、メインメニューやセットアップメニューであとから変更することができます。

メニューの操作

1 MENUボタンを押してメインメニューを表示させる

メインメニューを表示させるとき

→ MENU ボタンを押す

セットアップメニューを表示させるとき

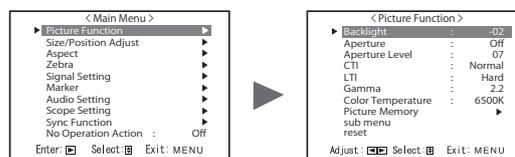
→ ▽ ボタンを押しながら ◀ ボタンを押す



2 △▽ボタンで項目をえらび、▶ボタンで次の画面へ進む

- 項目によっては、◀▶ボタンを押して設定します。

(例) メインメニューの「Picture Function」をえらんだとき



3 △▽ボタンで項目をえらび、◀▶ボタンで設定する

4 MENUボタンを押してメニューの操作を終了する

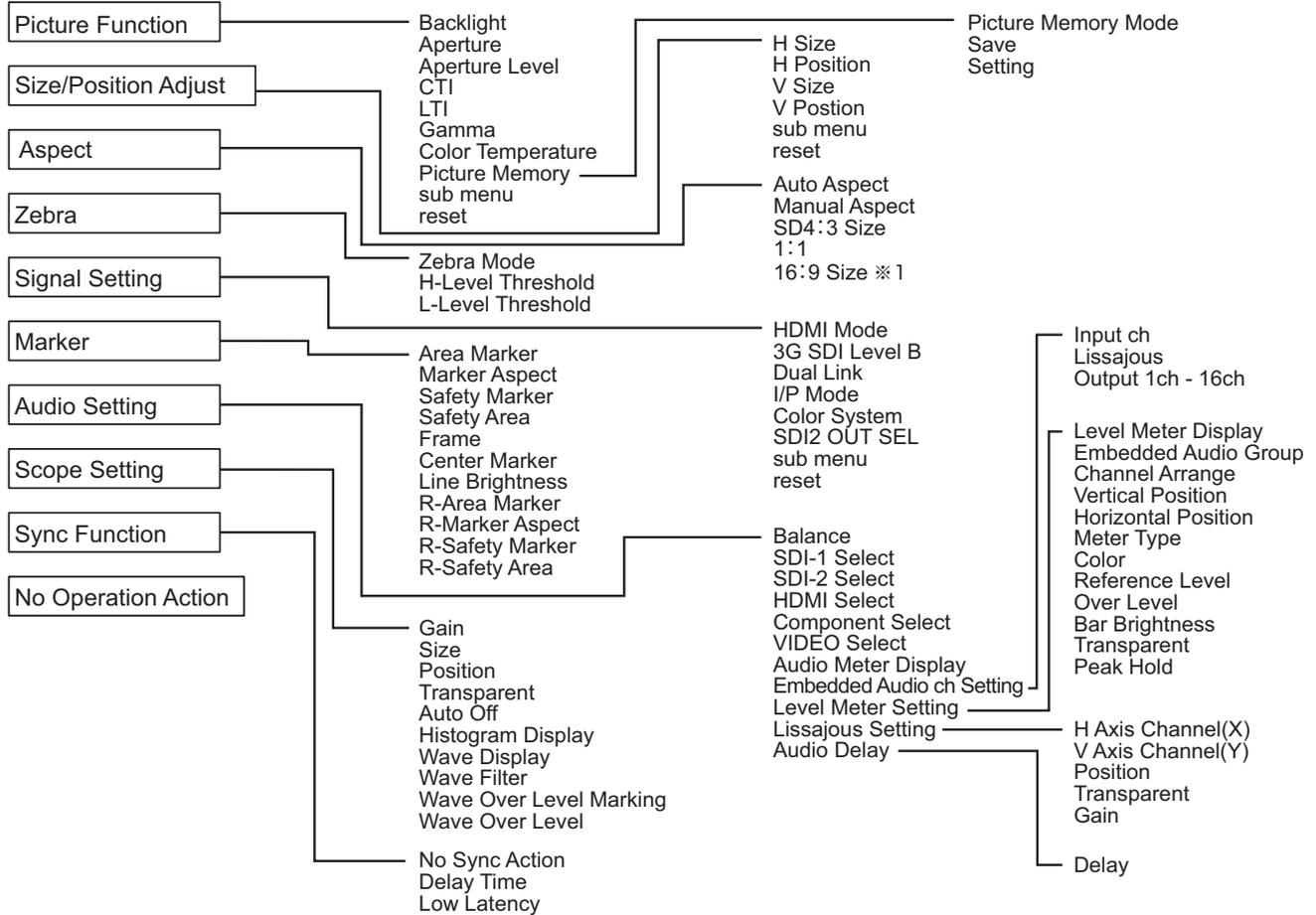
- メニュー画面の表示が消えるまで、MENUボタンをくり返し押します。

- メニュー表示は、約30秒間なにも操作しないと、自動的に消えます。
- 動作しないメニューは、グレースケールで、表示されます。
- 選択している入力や信号フォーマットによってはメニューに表示されない項目があります。

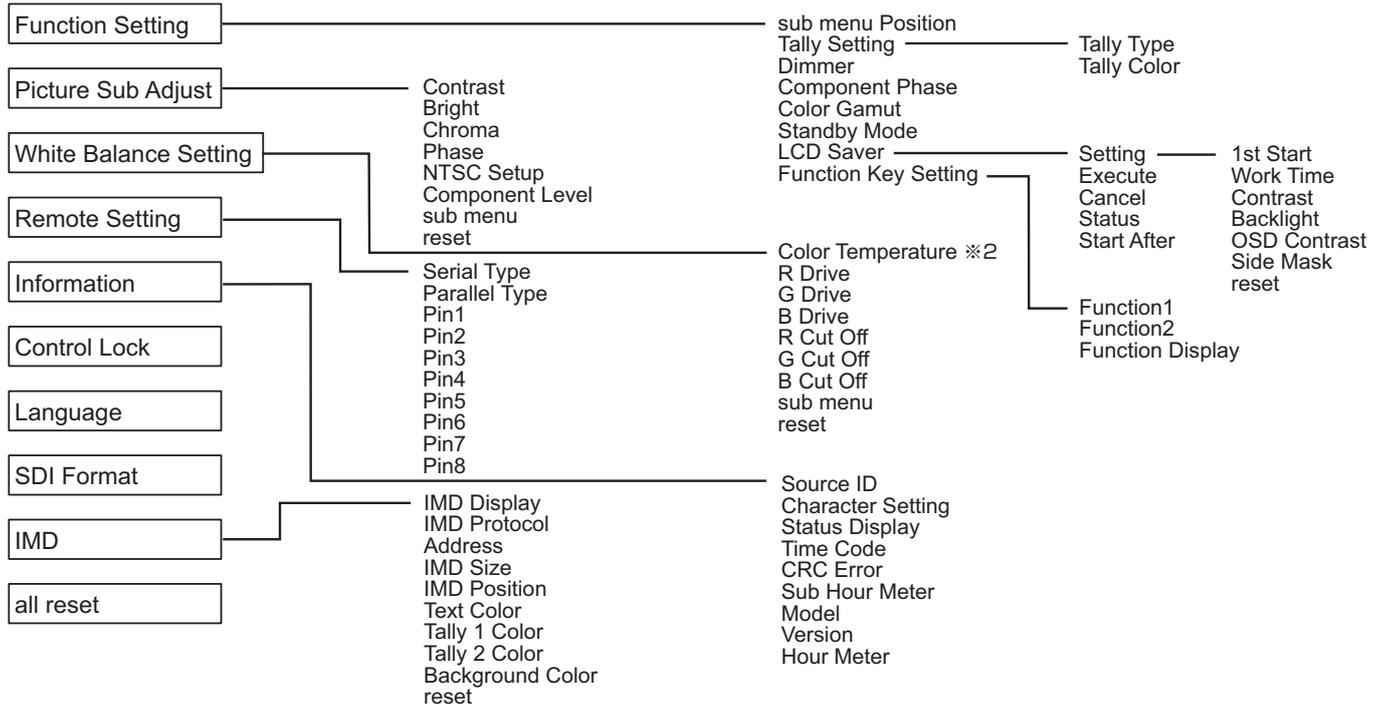
メニューの設定 (つづき)

メニューの遷移図

Main Menu



Set-Up Menu



※1: DT-V24G2のみ表示され、設定・変更できます。
 ※2: 「Color Temperature」は表示のみで、設定・変更はできません。

メインメニューの設定

Picture Function

画質を向上させるための設定

項目名	内容	設定値
Backlight	バックライトの明るさを調節	-20 ~ +20
Aperture ^{注1}	「Aperture Level」で設定される値のオン/オフ	Off, On
Aperture Level ^{注1}	輝度信号の周波数特性を補正	01 ~ 10
CTI	色信号の輪郭部の鮮鋭度を設定	Off, Normal, Hard
LTI	輝度信号の輪郭部の鮮鋭度を設定	Off, Normal, Hard
Gamma	ガンマ補正値を選択 (2.2 = γ 2.2相当、2.35 = γ 2.35相当、2.45 = γ 2.45相当、2.6 = γ 2.6相当)	2.2、2.35、2.45、2.6
Color Temperature	色温度を選択	9300K、6500K、5600K、User
Picture Memory	「Picture Memory Mode」「Save」「Setting」で設定した値の保存、呼び出し	
Picture Memory Mode ^{注2}	保存した設定値の呼び出し	Off, Mode-1, Mode-2, Mode-3
Save	設定した値の保存 <ul style="list-style-type: none"> 映像調整ノブで設定した調整値と、「Picture Function」メニュー内で設定した調整値を「Picture Memory Mode」に保存します。 「Picture Memory Mode」が「Off」の時のみ、選択可能です。 	Mode-1, Mode-2, Mode-3
Setting	映像の明るさやコントラストなどを調節、保存 <ul style="list-style-type: none"> 「Picture Memory Mode」が「Mode-1」「Mode-2」「Mode-3」の時に選択可能です。 	
Contrast	画面の明るい部分のレベルを調節	-128 ~ +127
Bright	黒レベルを調節	-128 ~ +127
Chroma	色の濃さを調節	-128 ~ +127
Phase	色の位相を調整する	-128 ~ +127
Backlight	バックライトの明るさを調節	-20 ~ +20
Aperture	「Aperture Level」で設定される値のオン/オフ	Off, On
Aperture Level	輝度信号の周波数特性を補正	01 ~ 10
Gamma ^{注3}	ガンマ補正値を選択 (2.2 = γ 2.2相当、2.35 = γ 2.35相当、2.45 = γ 2.45相当、2.6 = γ 2.6相当)	2.2、2.35、2.45、2.6
Color Temperature ^{注3}	色温度を選択	9300K、6500K、5600K、User
R Drive ^{注4}	赤(R)、緑(G)、青(B)のドライブレベルを調節	Min ~ 000 ~ Max
G Drive ^{注4}	<ul style="list-style-type: none"> 最大(Max)値、最小(Min)値は、入力信号および他の設定値などの条件で変動します。 	Min ~ 000 ~ Max
B Drive ^{注4}		Min ~ 000 ~ Max
Color Gamut ^{注3}	色域を設定	ITU-709, User, Adobe RGB
sub menu	「Picture Memory Setting」の項目を映像を見ながら調節	
Save	設定した値を保存 <ul style="list-style-type: none"> 現在選択中の「Mode-*」に保存されます。 	
Restore	保存されている状態に戻す	
sub menu	「Picture Function」の項目を映像を見ながら調節	
reset	「Picture Function」の設定をお買い上げ時の状態に戻す	

●「Picture Memory Mode」が「Mode-1」「Mode-2」「Mode-3」の時に映像調整ノブの操作が行われた場合、「Setting」の「sub menu」が表示され、<I> ボタンでのみ調整が可能になります。

注1 入力ごとに記憶されます。

注2 設定値を呼び出し時 ステータス表示に「Mode-1」「Mode-2」「Mode-3」と表示されます。「Setting」で調整後に「Save」で保存、あるいは「Restore」で保存状態に戻されていない場合、「Mode-1*」「Mode-2*」「Mode-3*」という表記になります。

注3 「Gamma」「Color Temperature」「Color Gamut」は「Picture Memory Mode」が「Mode-3」の時のみ設定可能です。

注4 「R Drive」「G Drive」「B Drive」は「Color Temperature」が「User」の時のみ設定可能です。

Size/Position Adjust

映像のサイズや位置を調節

項目名	内容	設定値
H Size ^{注1}	水平方向の映像サイズを調節	設定範囲は、入力信号および他の設定値などの条件で、変動します。
H Position ^{注1}	水平方向の映像位置を調節	
V Size ^{注1}	垂直方向の映像サイズを調節	
V Position ^{注1}	垂直方向の映像位置を調節	
sub menu	「Size/Position Adjust」の項目を映像を見ながら調節	
reset	「Size/Position Adjust」の設定をお買い上げ時の状態に戻す	

注1 信号フォーマットごとに記憶されます。

Aspect

映像を表示するアスペクト(画面の縦横比)の設定

項目名	内容	設定値
Auto Aspect	SD信号のアスペクト(画面の縦横比)設定を自動でおこなうか、Manual Aspectの設定にするかをえらぶ	Off, On
Manual Aspect ^{注1}	SD信号のアスペクトを設定	16:9、4:3

メニューの設定 (つづき)

SD4:3 Size ^{注1,注2}	4:3フォーマットの信号が入力されているときの映像サイズを選択 Normal : 垂直方向の映像サイズを画面の画素数に合わせて表示 H Full : 水平方向の映像サイズを画面の水平サイズに合わせて表示。このとき、上下がオーバースキャンになります。 V Full^{注4} : 垂直方向の映像サイズを拡大して表示。	Normal, H Full, V Full ^{注4}
1:1 ^{注3}	入力信号の解像度と同じ解像度(等倍)の映像を表示 ・ 入力信号によって、アスペクト比が変わることがあります。	Off, On
16:9 Size ^{注1,注2,注4}	16:9フォーマット信号が入力されているときの映像サイズを選択 Normal : 垂直方向の映像サイズを画面の画素数に合わせて表示 V Full : 垂直方向の映像サイズを拡大して表示。このとき、左右がオーバースキャンになり、左右にマーカーを表示します。	Normal, V Full

注1 1:1表示のときは動きません。

注2 ヒストグラム、波形モニター、ベクトルスコープのいずれかを表示しているときは「Normal」となります。

注3 ヒストグラム、波形モニター、ベクトルスコープのいずれかを表示しているときは「Off」となります。

注4 DT-V24G2のみ表示され、設定・変更できます。

Zebra

輝度範囲を表示するゼブラ機能の設定

項目名	内容	設定値
Zebra Mode	機能をオン/オフ	Off, On
H-Level Threshold	ゼブラパターンを表示する最大輝度を設定。「Over」は100%を超える範囲	5% ~ 100%(5%刻み)、Over
L-Level Threshold	ゼブラパターンを表示する最小輝度を設定	0% ~ 100%(5%刻み)

Signal Setting

入力信号にあわせた設定

項目名	内容	設定値
HDMI Mode	HDMI端子に入力されている信号形式の設定 ・ 「Auto」に設定すると、信号を自動判別します。(通常は「Auto」に設定します) ・ 「Auto」で映像が正しく映らない場合は、「Compo.」、「RGB」、「PC」のいずれかに設定してください。 ・ 本機のHDMI入力はHDCPIに対応しています。	Auto, Compo., RGB, PC
3G SDI Level B	3G SDI Level B入力時、多重処理された2つのHD SDI信号から表示させたいデータストリームを選択 ・ 3G SDI Level B Dual Link信号を入力した場合、設定値は無効になります。	DS1, DS2
Dual Link	SDI信号のDual Link機能をオン/オフ ・ 設定を「On」にしておく、「Dual Link」とステータスが表示されます。	Off, On
I/P Mode	入力映像に応じてスキャンモードを選択	Normal, Cinema
Color System	カラー方式の選択 ・ 「Auto」で映像が安定しない場合は、入力信号に合わせて選択してください。	Auto, NTSC, PAL, SECAM, NTSC 4.43, PAL-M, PAL-N, PAL60
SDI2 OUT SEL	SDI OUT 2 端子からの出力信号を設定 Switched Out : 現在、選択されているSDI入力(SDI 1または、SDI 2)の信号がリクロックされて出力されます SDI-2 : SDI IN2端子から入力された信号を出力します	Switched Out, SDI-2
sub menu	「Signal Setting」の項目を映像を見ながら調節	
reset	「Signal Setting」の設定をお買い上げ時の状態に戻す	

Marker^{注1}

マーカー機能の設定

項目名	内容	設定値
1/2 Area Marker	エリアマーカーの表示/非表示、種類を選択 Off : 範囲を表示しない Line : 範囲を線で表示 Half : 範囲外をハーフトーンで表示 Half+Line : 範囲を線で表示し、範囲外をハーフトーンで表示	Off, Line, Half, Half+Line
Marker Aspect	エリアマーカーのアスペクト比を選択	4:3, 16:9, 14:9, 13:9, 2.35:1, 1.85:1, 1.75:1, 1.66:1
Safety Marker	セーフティマーカーの表示/非表示、種類を選択 ^{注2}	Off, Line, Half, Half+Line
Safety Area	セーフティマーカーの範囲を設定	80% ~ 100%
Frame ^{注3}	映像範囲の表示/非表示	Off, On
Center Marker ^{注3}	映像の中央位置を示すマーカーの表示/非表示	Off, On
Line Brightness	マーカーの輝度を設定	Low, High

項目名	内容	設定値
2/2 R-Area Marker	エリアマーカ―の表示/非表示、種類を選択 ^{注2}	Off、Line、Half、Half+Line
R-Marker Aspect	エリアマーカ―のアスペクト比を選択	4:3、16:9、14:9、13:9、2.35:1、1.85:1、1.75:1、1.66:1
R-Safety Marker	セーフティマーカ―の表示/非表示、種類を選択 ^{注2}	Off、Line、Half、Half+Line
R-Safety Area	セーフティマーカ―の範囲を設定	80% ~ 100%

- エリアマーカ―とセーフティマーカ―は、正面のMARKERボタンまたは外部制御で表示させます。
- 「R-」は「REMOTE(外部制御)」を意味します。「R-」のついていない項目とついている項目のうち、どちらの設定を有効にするかは、外部制御で選択します。(※ 20ページ「外部制御」)
- 4:3表示のときは、表示エリアに対してのセーフティマーカ―が表示されます。
- 16:9表示のときに表示エリアに対するセーフティマーカ―を表示させるときは、エリアマーカ―の表示を「Off」にしてください。

注1 入力ごとに記憶されます。

注2 設定値の内容は「Area Marker」と同様です。

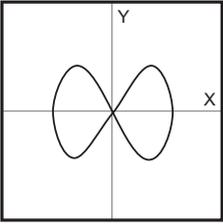
注3 1:1表示の場合はこの表示はグレーとなり、操作できません。

Audio Setting

AUDIO信号、EMBEDDED AUDIO信号、オーディオメーターについての設定

項目名	内容	設定値
Balance	左右のスピーカーの音量バランスを調節	L5~L1、0、R1~R5
SDI-1 Select ^{注1}	音声を出力する入力を選択 Off : 音声を出力しない Auto : デジタル音声を優先して出力 Digital : SDI端子からの音声を出力 Analog1 : AUDIO ASSIGN(IN 1)端子からの音声を出力 Analog2 : AUDIO ASSIGN(IN 2)端子からの音声を出力	Off、Auto、Digital、Analog1、Analog2
SDI-2 Select ^{注1}		
HDMI Select	音声を出力する入力を選択 Off : 音声を出力しない Digital : HDMI端子からの音声を出力 Analog1 : AUDIO ASSIGN(IN 1)端子からの音声を出力 Analog2 : AUDIO ASSIGN(IN 2)端子からの音声を出力	Off、Digital、Analog1、Analog2
Component Select	音声を出力する入力を選択 Off : 音声を出力しない Analog1 : AUDIO ASSIGN(IN 1)端子からの音声を出力 Analog2 : AUDIO ASSIGN(IN 2)端子からの音声を出力	Off、Analog1、Analog2
VIDEO Select		
Audio Meter Display	オーディオメーターを表示しない、またはレベルメーター表示かリサージュ表示かを設定	Off、Level Meter、Lissajous
Embedded Audio ch Setting ^{注1}	EMBEDDED AUDIO CHの設定	
Input ch	選択しているSDI INPUT CHを表示します	
Lissajous	リサージュ画面で選択しているEMBEDDED AUDIO CHを表示します	
Output 1ch ~ 16ch	チャンネルの出力を設定	L、R、LR、---
Level Meter Setting ^{注2}	EMBEDDED AUDIO信号のレベルメーター表示を設定 レベルメーターの表示例 —レベルメーター表示位置とチャンネルの関係 例: 「Level Meter Display」が「Horizontal 1」のとき: 例: 「Level Meter Display」が「Vertical」のとき:	
	<ul style="list-style-type: none"> ● レベルメーターで表示される音声チャンネル数は、「Embedded Audio Group」の選択によって、変化します。 ● 音声信号入力のないチャンネルのレベルメーターの色は、「3Colors」設定時は白色、「White」設定時は灰色になります。 ● 表示位置について、 「Level Meter Display」が「Horizontal 1」または「Horizontal 2」のときは、表示位置は画面上部と下部がえらべます。 「Level Meter Display」が「Vertical」のときは、表示位置は画面右下、左下、左上、右上からえらべます。 ● 「Peak Hold」が「On」のときは、信号レベルがもっとも大きいときにレベルメーターの最大値を一定時間保持します。 	
Level Meter Display	レベルメーターの縦表示か横表示かを設定	Vertical、Horizontal 1、Horizontal 2

メニューの設定 (つづき)

Embedded Audio Group ^{注2}	レベルメーターで表示するEMBEDDED AUDIO信号の音声チャンネルグループを選択 1G : チャンネル1/2/3/4 2G : チャンネル5/6/7/8 1-2G : チャンネル1/2/3/4/5/6/7/8 3G : チャンネル9/10/11/12 4G : チャンネル13/14/15/16 3-4G : チャンネル9/10/11/12/13/14/15/16 1-4G : チャンネル1/2/3/4/5/6/7/8/9/10/11/12/13/14/15/16	1G、2G、1-2G、3G、4G、3-4G、1-4G
Channel Arrange	レベルメーターの音声チャンネル表示順序を選択	Line、Divide
Vertical Position	縦表示のレベルメーターの表示位置を設定	Lower Right、Lower Left、Upper Left、Upper Right
Horizontal Position	横表示のレベルメーターの表示位置を設定	Upper、Lower
Meter Type	レベルメーターのデザインを設定	Bar、Block
Color	レベルメーターの色を設定	3Colors(レベルに応じて色分け)、White(白色)
Reference Level	レベルメーターで表示される標準入力レベルを設定	-20dB、-18dB
Over Level	レベルメーターの色が「3Colors」のときに、赤色で表示される入力レベルの下限を設定	-10dB、-8dB、-6dB、-4dB、-2dB
Bar Brightness	レベルメーターの明るさを設定	Low、High
Transparent	レベルメーター表示の映像に対する透過度を設定	Off、Background、All
Peak Hold	レベルメーターのピークホールド機能をオン/オフ	Off、On
Lissajous Setting	リサージュについての設定 <リサージュの表示例> 	
H Axis Channel(X)	リサージュ画面の横軸に表示するEMBEDDED AUDIO CHを選択	1、2、3、4、5、6、7、8、9、10、11、12、13、14、15、16
V Axis Channel(Y)	リサージュ画面の縦軸に表示するEMBEDDED AUDIO CHを選択	1、2、3、4、5、6、7、8、9、10、11、12、13、14、15、16
Position	表示画面の表示位置を選択	Lower Right、Lower Left、Upper Left、Upper Right
Transparent	表示画面の背景を半透明にする	Off、On
Gain	リサージュのゲインを設定します	0dB、+6dB、+12dB
Audio Delay	音声遅延についての設定	
Delay	SDI入力のEMBEDDED AUDIOを遅延させます	0、1、2、3、4、5、6、7、8、9、10

注1 Dual Link入力の場合はSDI-1として動作します。

注2 入力ごとに記憶されます。

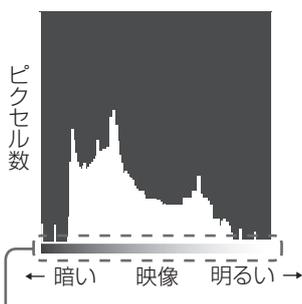
Scope Setting^{注1}

波形モニター、ベクトルスコープ、ヒストグラムについての設定

項目名	内容	設定値
Gain ^{注2}	入力ゲインレベルを調節	-10 ~ +10
Size ^{注3}	表示画面の大きさを設定	Normal、Large
Position	表示画面の表示位置を選択	Lower Right、Lower Left、Upper Left、Upper Right
Transparent	表示画面の背景を半透明にする Off : 半透明にしない On : 半透明にする	Off、On
Auto Off	表示されてから15分後、ウィンドウが自動的に消える機能を設定	Off、On
Histogram Display	ヒストグラム表示をする信号成分の選択	Y、R、G、B、RGB
Wave Display	波形モニターの表示波形選択	Y、Pb、Pr(HD信号時) Y、Cb、Cr(SD信号時) R、G、B(RGB信号時)
Wave Filter	入力波形データにかけるローパスフィルター機能をオン/オフ	Flat(フィルターなし)、Low pass

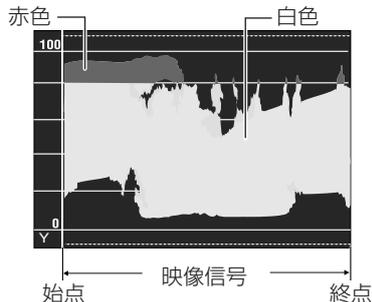
Wave Over Level Marking	「Wave Over Level」(※下記)で設定した数値を超えた信号の波形の色を変える機能をオン/オフ	Off, On
Wave Over Level	輝度信号のオーバーレベルの下限を設定	70 ~ 109

<ヒストグラムの表示例>



グラデーション表示の開始～終了は、信号の0%～100%に相当します。

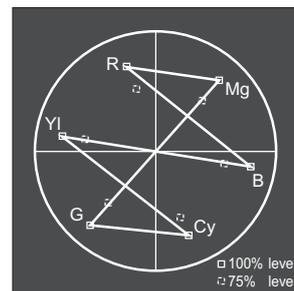
<波形モニターの表示例>



例: 輝度信号(Y)、Wave Over Level Marking: On、Wave Over Level: 80のとき

- 「Wave Over Level」で設定した数値を超えた信号の波形の色は、赤色に変わります。
- 入力されている信号や「Wave Display」の選択によっては、表示に違いがあります。

<ベクトルスコープの表示例>



例: カラーバー信号のとき

注1 RGB信号ではベクトルスコープは表示しません。

注2 ヒストグラムに対しては無効です。

注3 ヒストグラムのサイズは「Normal」のみです。

Sync Function

信号との同期についての設定

項目名	内容	設定値
No Sync Action	入力信号がないときの動作を設定	Off, Standby, Power Save(省電力モード)、Gray Back(灰色画面)
Delay Time	入力信号がなくなってから、「No Sync Action」で設定した動作に切り換わるまでの時間を設定	30s, 5min, 15min
Low Latency	入力された映像が表示されるまでの遅延時間を短くする機能をオン/オフ <ul style="list-style-type: none"> • 「On」で映像が不安定なときは、「Off」にしてください。 • 「On」に設定していると、正面のボタンやメニューを操作したときや、信号フォーマットが変わったときに、画面がちらつくことがあります。 	Off, On

- 「No Sync Action」を「Gray Back」にすると、画面が灰色になり、バックライトの消費電力が半減します。「Power Save」(省電力モード)にすると、バックライトをオフにして、消費電力をさらに抑えます。

No Operation Action

設定値: Off, On

本機の操作を4時間以上しなかった時に、自動的にオフ(スタンバイ)にする機能の設定

Off: 自動でオフしない

On: 自動でオフする

- Onに設定した時、自動でオフにする約3分前に警告メッセージが表示されます。また、本機をオンにすると、この機能がOnに設定されていることを示すメッセージが約30秒間表示されます。

セットアップメニューの設定

Function Setting

サブメニュー表示、タリーランプ、ボタンランプの明るさ、LCD Saver、FUNCTIONボタンなどについての設定

項目名	内容	設定値
sub menu Position	サブメニューの表示内容と表示位置を選択 Lower 1 : 現在の設定と調節バーを画面下部に表示 Upper 1 : 現在の設定と調節バーを画面上部に表示 Lower 2 : 現在の設定だけを画面下部に表示 Upper 2 : 現在の設定だけを画面上部に表示 <ul style="list-style-type: none"> • 調節バーが表示されない項目もあります。 	Lower 1, Upper 1, Lower 2, Upper 2
Tally Setting	外部制御を使ったタリーランプの点灯色や点灯方法を設定	
Tally Type	Normal : タリー全体を点灯させる Half : タリーの左右半分ずつを別々に点灯させる	Normal, Half
Tally Color	Tally TypeがNormal設定時のタリー色を設定	Green, Red

メニューの設定 (つづき)

Dimmer	ボタンランプの明るさを選択	Normal, Dark	
Component Phase	NTSC信号以外のときにPHASE調節(映像調節ノブまたはセットアップメニューの「Picture Sub Adjust」)を無効とする機能(☞ 16ページ)	Enable, Disable	
Color Gamut	色域を設定します	ITU-709, User, Adobe RGB	
Standby Mode	モニターをオフ(スタンバイ)にしたときの動作を設定 Normal : モニターをオフ後、30秒後にLow Power Mode(低消費電力モード)移行し消費電力を抑えることができます。 この時、外部制御による電源オンができません。 Serial : モニターをオフ後、外部制御による電源オンができません。 SDI Out : モニターをオフ後、外部制御による電源オンができません。また、SDI OUT端子から映像が出力されます。	Normal, Serial, SDI Out	
LCD Saver	長時間使用時に液晶パネルへの負担を軽減する設定(☞ 19ページ)		
Setting	1st Start	スタンバイしている時間の設定(単位:時間)	00h ~ 24h
	Work Time	機能を動作させている時間の設定(単位:時間)	01h ~ 06h
	Contrast	映像コントラストの低減の設定	Normal, Save
	Backlight	バックライト輝度低減の設定	Normal, Save
	OSD Contrast	OSD表示コントラスト低減の設定	Normal, Save
	Side Mask	サイドマスク使用の有無を設定 ※ LCD SAVER機能の実行/停止とは関係なく、SIDE MASK機能は動作します。	Off, On
	reset	LCD Saver Settingの設定をお買い上げ時の状態に戻す	
Execute	LCD Saver の機能を実行する		
Cancel	LCD Saver の機能を停止させる(機能停止中は表示されません)		
Status	LCD Saver の状態を表示	Off, Ready	
Start After	LCD Saver の動作開始までの時間表示(単位:時間と分)	**h **min	
Function Key Setting	F1ボタン、F2ボタンに割り当てる機能を設定		
Function1 Function2	F1ボタン、F2ボタンに登録する機能を設定する。 ※ 設定した機能の内容についてはメニューの説明(11ページから18ページ)を参照してください。	---, Aperture, I/P Mode, Frame, Center Marker, Level Meter Display, Gamma, Color Temperature, CRC Error, Manual Aspect, Picture Memory Mode	
Function Display	F1ボタンを押したときに、設定された機能の状態表示をするかしないかの設定 Off : ステータス表示なし。登録機能を実行。 Mode-1 : ステータスを表示。登録機能を実行。 Mode-2 : ステータスを表示。登録機能は実行しない。 ステータス表示中に、もう一度ボタンを押すと登録機能を実行します。	Off, Mode-1, Mode-2	

● 「Function Key Setting」はメニューが表示されていないときに▽ボタンを押して表示することもできます。

● F1ボタン、F2ボタン操作時の動作について

ボタンを押すたびに、ボタンに設定された機能の設定値を順番に切り替えます。

例:「Color Temperature」を設定したときボタンを押すたびに、4つの設定値を切り替えます。

→ 9300K → 6500K → 5600K → User

Picture Sub Adjust

映像調節の基準レベルを設定

項目名	内容	設定値
Contrast ^{注1}	正面のCONTRAST調節ノブで調節するときの基準レベルを調節	-20 ~ +20
Bright ^{注1}	正面のBRIGHT調節ノブで調節するときの基準レベルを調節	-20 ~ +20
Chroma ^{注1}	正面のCHROMA調節ノブで調節するときの基準レベルを調節	-20 ~ +20
Phase ^{注1, 注2}	正面のPHASE調節ノブで調節するときの基準レベルを調節	-20 ~ +20
NTSC Setup	NTSC信号入力時のセットアップレベルを設定	00(セットアップ0%の信号)、7.5(セットアップ7.5%の信号)
Component Level	アナログコンポーネント信号(480iのみ)のレベルを設定	B75(BetacamVTRのセットアップ7.5%の信号)、B00(BetacamVTRのセットアップ0%の信号)、SMPTE(M2VTRからの信号)
sub menu	「Picture Sub Adjust」の項目を映像を見ながら調節	
reset	「Picture Sub Adjust」の設定をお買い上げ時の状態に戻す	

注1 入力ごとに記憶されます。

注2 「Component Phase」(☞ 16ページ)を「Disable」に設定しているときは、「Phase」の調節はNTSC信号以外は動きません。

White Balance Setting

色温度の表示と、R/G/Bのドライブレベル、カットオフ点を調節

項目名	内容	設定値
Color Temperature	色温度を表示(設定、変更はできません)	9300K、6500K、5600K、User
R Drive ^{注1} G Drive B Drive	赤(R)、緑(G)、青(B)のドライブレベルを調節 • 最大(Max)値、最小(Min)値は、入力信号および他の設定値などの条件で変動します。	Min ~ 000 ~ Max (1024段階)
R Cut Off ^{注1} G Cut Off B Cut Off	赤(R)、緑(G)、青(B)のカットオフ点を調節 • 最大(Max)値、最小(Min)値は、入力信号および他の設定値などの条件で変動します。	Min ~ 000 ~ Max (1024段階)
sub menu	[White Balance Setting]の項目を映像を見ながら調節	
reset	[White Balance Setting]の設定をお買い上げ時の状態に戻す	

注1 「Color Temperature」の設定値ごとに記憶されます。

Remote Setting

外部制御に関する設定

項目名	内容	設定値
Serial Type	シリアル方式で外部制御するときの外部制御端子を選択	RS232C、RS485
Parallel Type	MAKE/TRIGGER端子の制御方式を選択	Make、Trigger、Set
Pin1	MAKE/TRIGGER端子で制御する機能を各ピンに割り当て • 割り当ては上記の「Parallel Type」で「Set」をえらんでおこないます。	☞ 21ページ「MAKE/TRIGGER方式で制御可能な機能」の「モニター表示」
Pin2		
Pin3		
Pin4		
Pin5		
Pin6	「Pin6」～「Pin8」にはあらかじめ機能が割り当てられています。変更することはできません。	Tally
Pin7		Enable
Pin8		GND

Information

本機の情報の表示に関する設定

項目名	内容	設定値
Source ID	下記の「Character Setting」で登録した映像ソース名の表示/非表示を設定(☞ 8ページ「情報表示について」) • 「Auto」に設定し、タリーランプを点灯させている場合はタリーランプの点灯色と同じ色に変わります。	Off、On、Auto
Character Setting	任意の入力映像ソース名(10文字まで)を登録。RS-232C方式でも入力できます。(☞ 19ページ)	
Status Display	現在えらんでいる入力のステータスとMUTING(消音)の設定状態の表示/非表示を設定(☞ 8ページ「ステータス表示について」)	Auto、Off、On
Time Code	タイムコードの表示種類を選択	VITC ^{注1} 、LTC ^{注1} 、D-VITC
CRC Error	HD SDI信号入力時のCRCエラーの表示/非表示を設定(☞ 8ページ「情報表示について」)	Off、On
Sub Hour Meter	使用時間を表示(単位:時間) 使用時間は、リセットして0に戻すことができます。	
Model	本機の型名を表示	
Version	本機のバージョンを表示	
Hour Meter	合計使用時間を表示(単位:時間) 本機の保守の際に確認します。合計使用時間はリセットできません。	

注1 アンシラリータイムコード

Control Lock

設定値 : Off、Volume Lock、All Lock

本機の操作ができないように設定

- 「Volume Lock」のときは以下の操作は働きません。
 - 映像調節ノブ
 - VOLUME調整ノブ
 - 「All Lock」のときは本機の操作ができません。ただし以下の操作は可能です。
 - モニターのオン/オフ(スタンバイ)
 - ▽ ボタンを押しながら ◀ ボタンを押してセットアップメニューを表示し、「Control Lock」を「Off」にする
 - 外部制御による本機の操作
- これら以外の操作をすると、画面に「Control Lock On!」と表示されます。

メニューの設定 (つづき)

Language

設定値 : English、Deutsch、Français、Español、Italiano、Русский

メニューなどの表示言語の設定

SDI Format

設定値 : Auto、MS1YCbCr、MS2YCbCr、MS3YCbCr、MS4YCbCr、MS2 RGB、MS3 RGB、3G-B-DS

「Auto」に設定すると、3G SDI/HD-SDI DUAL LINK入力時に信号を自動判別します。(通常は「Auto」に設定します)

- 「Auto」で映像が正しく映らない場合は、入力信号にあわせて選択してください。
- 「Auto」以外を選択している場合は、ステータス表示にManual(手動)を意味する「M」が追加表示されます。

IMD

IMD(インモニターディスプレイ)の設定 (☞ 19ページ)

項目名	内容	設定値
IMD Display	表示設定 Off : 表示させない On : 表示させる	Off、On
IMD Protocol	シリアル通信のプロトコル設定 Off : JVCプロトコルに対応 TSL V4.0 : TSL UMD Protocol V4.0に対応	Off、TSL V4.0
Address	アドレス設定 000-126 : 個別のアドレスを指定する	000 ~ 126
IMD Size	文字サイズ設定 Small : 小サイズ Middle : 中サイズ Large : 拡大サイズ	Small、Middle、Large
IMD Position	表示位置を設定	Upper、Lower
Text Color	文字色の設定 Command : 通信(コマンド)で指定された色に従う Red、Green、Amber、Blue、Cyan、Magenta、White : 文字色の指定	Command、Red、Green、Amber、Blue、Cyan、Magenta、White
Tally 1 Color	タリー1の色設定 Command : 通信(コマンド)で指定された色に従う Red、Green、Amber、Blue、Cyan、Magenta、White : 表示色の指定	Command、Red、Green、Amber、Blue、Cyan、Magenta、White
Tally 2 Color	タリー2の色設定 Command : 通信(コマンド)で指定された色に従う Red、Green、Amber、Blue、Cyan、Magenta、White : 表示色の指定	Command、Red、Green、Amber、Blue、Cyan、Magenta、White
Background Color	表示背景色の設定 Black : IMD表示の背景を黒にする。 Translucent : IMD表示の後にモニターの映像が透ける。 Transparent : IMD表示の背景を透明にする。	Black、Translucent、Transparent
reset	「IMD」の設定をお買い上げ時の状態に戻す	

all reset

本機のすべての設定をお買い上げ時の状態に戻す(リセット)

- 「Hour Meter」と映像調節ノブ (☞ 6ページ ③) による設定はリセットされません。

● ソース名登録のしかた

1. 映像ソース名を登録したい入力に切り換える
2. 「Character Setting」を表示させる
3. Δ▽ボタンを押して1文字目に入力する文字をえらぶ
 - Δボタンを押すごとに、文字が次のように切り換わります。
 - ▽ボタンでは逆順に切り換わります。



→空白(スペース)→0~9→A~Z→a~z→&()*+,-./:<>_

4. ▷ボタンを押してカーソル(矢印)を次の文字の入力位置に移動させる
 - カーソル(矢印)を移動させる前に入力した文字は記憶されます。
5. 手順3.4をくり返して、最大10文字まで入力する
6. MENUボタンを押して設定を保存する



● LCD Saverの使いかた

1. 実施する低減機能を設定する。
2. 機能をスタートさせる時間と、働かせておく時間を設定する。
3. Executeで待機モードを実行させる。

■ LCD Saver動作中に中断するには

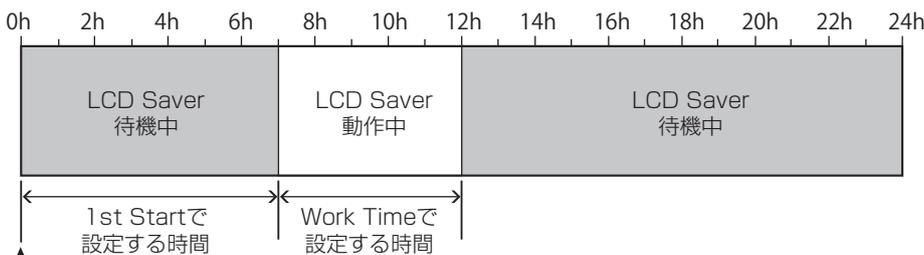
本機の操作をすることで実行モードが中止されます。

■ LCD Saverが動作しないようにするには

Cancelを実行する。電源を切る。

- 一度機能を動作させると、電源を切ったりCancelをしないかぎり、24時間経過することにより低減機能が実行されます。

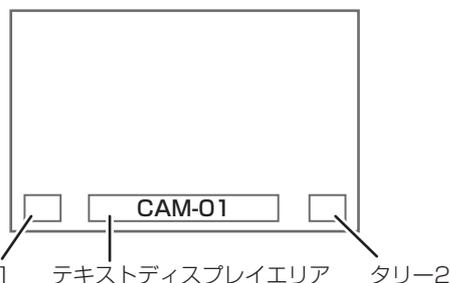
■ 「1st Start」と「Work Time」の設定例



↑ Executeの実行タイミング

● IMD(インモニターディスプレイ)について

本機はTelevision Systems Ltd 社の「TSL UMD Protocol - V4.0」に対応しています。
 16文字のテキスト表示と左右2か所のタリートを制御できます。
 文字およびタリートの色も設定が可能です。
 アドレス設定をおこなうことで、127台まで個別に制御が可能です。
 利用するには本機の外部制御端子をシリアル方式にします。
 制御コマンドについて、詳しくはTelevision Systems Ltd 社のホームページをご覧ください。



※ IMDの画面下部表示例

● Low Power Mode (低消費電力モード)について

モニターをオフ(スタンバイ)すると、30秒後にLow Power Modeになり、スタンバイ状態から更に消費電力を抑えることができます。

- セットアップメニューの「Standby Mode」が「Serial」、「SDI Out」のときはLow Power Modeにはなりません。
- Low Power Mode中は電源ランプが消灯します。

外部制御

外部制御の概要

本機は2種類の外部制御端子を備えています。

- **MAKE/TRIGGER端子**(RJ-45):以下の2種類の制御方式から選びます。

① MAKE(メイク接点)方式

ピンを短絡(GNDとショート)または、開放(端子オープン)することで機能を制御します。

② TRIGGER(トリガー)方式

ピンに瞬間的にパルス信号を入力することで機能を制御します。

☞右記「MAKE/TRIGGER方式での外部制御」

- **RS-485端子**(RJ-45):RS-485方式で本機を制御します。

(☞ 21ページ「シリアル方式での外部制御」)

- **RS-232C端子**(D-sub 9ピン):RS-232C方式で本機を制御します。

(☞ 21ページ「シリアル方式での外部制御」)

ご使用の外部制御端子と制御方式にあわせて、セットアップメニューの「Remote Setting」を下の表のように設定してください。

(☞ 17ページ「Serial Type」、「Parallel Type」)

外部制御端子	外部制御方式	本機の設定		
		「Serial Type」	「Parallel Type」	
MAKE/TRIGGER端子	パラレル方式	MAKE	—	Make
		TRIGGER	—	Trigger
RS-485端子	シリアル方式	RS485	RS485 ^{注1}	—
RS-232C端子		RS-232C	RS-232C ^{注1}	—

注1 パソコンなどに接続したモニターは、接続した端子に合わせて設定します。2台め以降は「RS485」に設定します。

MAKE方式による制御は、その他の制御に優先されます。

- 「Control Lock」(☞ 17ページ)が「Volume Lock」または「All Lock」のときも、外部制御できます。
- モニターがオフ(スタンバイ)のときは、外部制御できません。ただし、シリアル方式の一部の外部制御(通信開始/終了、モニターオン)は可能です。(☞ 22ページ)

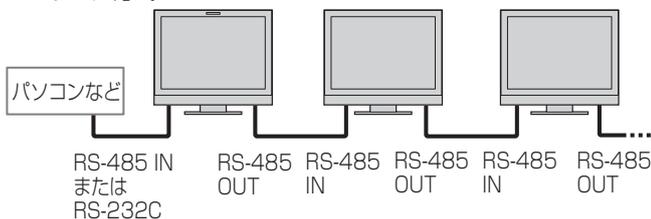
<MAKE/TRIGGER方式>

パソコンまたはコントローラ^{注2}で本機を制御します。

- 詳しくは右記の「MAKE/TRIGGER方式での外部制御」をご覧ください。

注2 別途制作の必要があります。

<シリアル方式>



- 詳しくは21ページをご覧ください。

MAKE/TRIGGER方式での外部制御

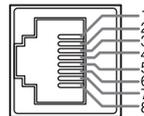
MAKE/TRIGGER端子のピン配列と、各ピンの名前は以下のとおりです。

1番ピンから5番ピンの機能は、セットアップメニューの「Remote Setting」で割り当てることができます。

(☞ 17ページ「Parallel Type」、「Pin1」、「Pin2」、「Pin3」、「Pin4」、「Pin5」)

- 6番ピンから8番ピンの機能は変更できません。

ピン番号	名前
1	Pin1
2	Pin2
3	Pin3
4	Pin4
5	Pin5
6	Tally ^{注1}
7	Enable ^{注2}
8	GND



端子はメスです。

注1 6番ピンはタリールームの点灯/消灯を制御します。(7番ピンが無効のときも単独制御できます)

注2 7番ピンは外部制御の有効/無効を制御します。有効にするためには、8番ピンに短絡したままにします。

端子の機能を割り当てるには

メニューの操作方法は、9ページをご覧ください。

1. セットアップメニューを表示して、「Remote Setting」をえらび
2. 「Parallel Type」を「Set」に設定する
3. 割り当てたい端子(「Pin1」～「Pin5」)をえらび、機能を割り当てる
割り当てられる機能については、21ページの一覧表をご覧ください。

外部制御の操作

1. セットアップメニューの「Remote Setting」で「Parallel Type」を「Make」または「Trigger」に設定する
2. 7番ピンを8番ピンに短絡したままにして外部制御を有効にする
3. MAKE方式の場合 : 各機能のピンを8番ピンに短絡または開放して制御する
TRIGGER方式の場合 : 各機能のピンを約1秒間8番ピンに短絡して開放する操作(パルス制御)で制御する

- MAKE方式での制御中に入力を切り換えるときは、現在有効になっているピンを無効にしてから、切り換えたい入力のピンを有効にしてください。
- TRIGGER方式では、複数のピンを一度に操作しても動作しません。必ず一つずつ順番に操作してください。

<MAKE/TRIGGER方式で制御可能な機能>

モニター表示	制御する機能	開放	短絡
---	機能なし	—	—
Tally Color	タリーランプ色選択 ^{注1}	緑	赤
Tally Type	タリーランプ点灯領域選択	全体	左右半分ずつ
Tally-L(R)	タリーランプの左半分を赤に点灯 ^{注2}	オフ	オン
Tally-R(G)	タリーランプの右半分を緑に点灯 ^{注2}	オフ	オン
SDI-1	入力を「SDI 1」に切換	無効	有効
SDI-2	入力を「SDI 2」に切換	無効	有効
HDMI	入力を「HDMI」に切換	無効	有効
Compo.	入力を「Compo.」に切換	無効	有効
Video	入力を「Video」に切換	無効	有効
Area Marker	エリアマーカー表示	オフ	オン
Safety Marker	セーフティマーカー表示	オフ	オン
Center Marker	センターマーカー表示	オフ	オン
Frame	映像範囲表示	オフ	オン
Marker Select	「Marker」で設定した機能の選択 ^{注3}	「R-」のない機能の設定	「R-」付きの機能の設定
Manual Aspect	アスペクト切換	4:3	16:9
1:1	1:1表示	オフ	オン
Status	ステータス表示 ^{注4}	☞ 8ページ「ステータス表示について」	
Level Meter	レベルメーター表示	注5	
Time Code	タイムコード表示	オフ	オン
Source ID	☞ 17ページ「Information」の「Source ID」	注6	
Color Off	カラーオフ	カラー	モノクロ
Screens Check	スクリーンチェック	注7	
I/P Mode	入力映像に応じてモードを切換	注8	
Muting	消音	オフ	オン
Dimmer	ボタンランプの明るさを切換	Normal	Dark
Wave Form	波形モニター表示	オフ	オン
Vector Scope	ベクトルスコープ表示	オフ	オン
Histogram	ヒストグラム表示	オフ	オン
Zebra Mode	ゼブラ機能の設定	無効	有効

- 注1 「Tally Type」(「Set-Up Menu」→「Function Setting」→「Tally Setting」)が「Normal」のときに制御できます。
- 注2 「Tally Type」(「Set-Up Menu」→「Function Setting」→「Tally Setting」)が「Half」のときに制御できます。
- 注3 「R-」のない機能と「R-」付きの機能の設定のどちらを使うかを選択します。(☞ 12ページ「Marker」)
- 注4 現在選んでいる入力のINPUT SELECTボタンを押した場合と同じ情報が表示されます。(☞ 8ページ「ステータス表示について」)
MAKE方式で制御しているときは、短絡した瞬間のみ表示されます。
- 注5 MAKE方式では、表示(短絡)/非表示(開放)を切り換えます。「Audio Meter Display」が「Off」または「Lissajous」のときは、短絡しても表示されません(「No Effect」と表示されます)。TRIGGER方式では、レベルメーターの音声チャンネルの表示順序を切り換えます。
- 注6 MAKE方式では、「Source ID」の設定値(「On」または「Auto」は短絡)と「Off」(開放)を切り換えます。TRIGGER方式ではメニューの設定と同じように切り換わります。(☞ 17ページ「Information」の「Source ID」)
- 注7 MAKE方式では、通常の映像(開放)とB信号成分のみの映像(短絡)が切り換わります。TRIGGER方式では、SCREENS CHECKボタンを押したときと同じように切り換わります(☞ 7ページ 14)。
- 注8 TRIGGER方式で制御してください。スキャンモード「Normal」と「Cinema」が切り換わります。(MAKE方式では、制御できません)
- 2つのピンに、同じ機能を割り当てることはできません。
 - TRIGGER方式の場合、約1秒間短絡して開放する操作により、設定が交互に切り換わります。

シリアル方式での外部制御

RS-485端子またはRS-232C端子を使って、本機をパソコンなどから制御します。

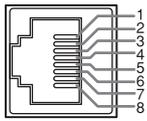
※ 制御仕様の詳細は、サービス窓口にお問い合わせください。

<通信仕様>

使用する端子	ケーブル	端子の仕様	通信仕様
RS-485端子	ストレートLANケーブル	☞ 22ページ	ボーレート:4800 bps データ長:8ビット パリティ:なし ストップビット:1ビット フロー制御:なし 通信コード:ASCIIコード
RS-232C端子	D-sub9ピン型コネクターのストレートケーブル (モニター側:オス、パソコン側:メス)		

外部制御 (つづき)

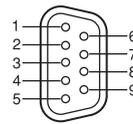
<RS-485端子の仕様>



端子はメスです。

ピン番号	IN端子信号	OUT端子信号
1	TXD+	TXD+
2	TXD-	TXD-
3	RXD+	RXD+
4	NC	NC
5	NC	NC
6	RXD-	RXD-
7	NC	NC
8	GND	GND

<RS-232C端子の仕様>



端子はメスです。

ピン番号	信号
1	NC
2	RXD
3	TXD
4	NC
5	GND
6	NC
7	RTS
8	CTS
9	NC

●7番ピンと8番ピンは接続されています。

<コマンド概要>

すべてのコマンドは、以下のフォーマットで形成されています。

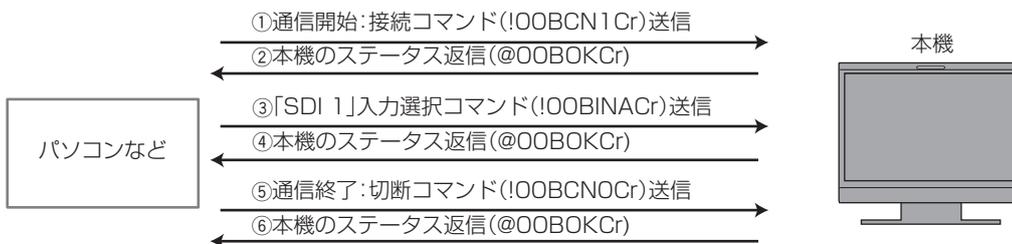
ヘッダー	本機のID	コマンド内容	データ内容	Cr(0Dh)
------	-------	--------	-------	---------

ヘッダーについて

- [!]: パソコンから本機への制御。詳しくは、<基本コマンド一覧> (☞下表)をご覧ください。
- [?]: パソコンから本機への問い合わせ
- [@]: 本機からパソコンへの返信

通信開始時には接続コマンド、通信終了時には切断コマンドが必要です。

通信例



<基本コマンド一覧>

No.	コマンド	機能	データ内容
1	! * *注1 B C N O Cr	通信終了(切断)	なし
2	! * *注1 B C N 1 Cr	通信開始(接続)	なし
3	! * *注1 B I D S E T x x注2 Cr	個別制御IDの割付	00~99
4	! * *注1 B I D R E T Cr	個別制御IDの初期化	なし
5	! * *注1 B I D D S P x x注2 Cr	個別制御ID 表示/非表示	00:非表示,01:表示
6	! * *注1 B M E N U Cr	メインメニューの表示/メニュー操作の終了	なし
7	! * *注1 B U P Cr	項目選択(Δ)	なし
8	! * *注1 B D O W N Cr	項目選択(▽)	なし
9	! * *注1 B A D J R Cr	設定・調整(▷)	なし
10	! * *注1 B A D J L Cr	設定・調整(◁)	なし
11	! * *注1 B S E T U P Cr	セットアップメニューに入る	なし
12	! * *注1 B P W O Cr	モニター電源制御 OFF	なし
13	! * *注1 B P W 1 Cr	モニター電源制御 ON	なし
14	! * *注1 B I N A Cr	入力選択 A SDI1	なし
15	! * *注1 B I N B Cr	入力選択 B SDI2	なし
16	! * *注1 B I N C Cr	入力選択 C HDMI	なし
17	! * *注1 B I N D Cr	入力選択 D COMPO.	なし
18	! * *注1 B I N E Cr	入力選択 E VIDEO	なし
19	! * *注1 B D I S P Cr	信号ステータス表示注3	なし
20	! * *注1 B A M U T E x x注2 Cr	消音	00:オフ,01:オン
21	! * *注1 B A S P x x注2 Cr	ASPECT切換え(ダイレクト)	00:4:3,01:16:9

●「Cr」は0Dhです。

●通信開始(接続)コマンド(No.1)、通信終了(切断)コマンド(No.2)、モニターをオンにするコマンド(No.9)は、「Standby Mode」を「Serial」か「SDI Out」に設定することでモニターがオフ(スタンバイ)のときも通信できます。

注1 「* *」には、本機のIDを入力します。本機のIDの初期設定は「00」です。モニターを複数台接続している場合、「00」は一括制御コマンドになります。

注2 「xx」にはデータ内容を入力します。

注3 現在点灯しているINPUT SELECTボタンを押した場合と同じ情報を表示します。(☞8ページ「ステータス表示について」)

困ったときは

修理をご依頼の前に、もう一度次の点を確認してください。それでも不具合や異常があるときは、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店にご相談ください。

こんなときは	こうしてください	ページ
電源が入らない	● ⏻ /I ボタンをオンにしてください。	7
	● (DT-V17G2/DT-V21G2) AC電源プラグまたはDC電源プラグを確実に差し込んでください。	5
	● (DT-V17G2/DT-V21G2) 背面のPOWERスイッチまたはDCスイッチをオンにしてください。	5
	● (DT-V17G25/DT-V24G2) AC電源プラグを確実に差し込んでください。	5
	● (DT-V17G25/DT-V24G2) 背面のPOWERスイッチをオンにしてください。 ● DC電源使用時は、バッテリーを充電するか、充電されたバッテリーに交換してください。	5
映像が映らない	● INPUT SELECT ボタンで正しい入力をえらんでください。	7
	● 接続ケーブルを確実に接続してください。	5
	● 接続機器の電源を入れ、正しく設定してください。	—
	● 本機で対応しているフォーマットの信号を入力してください。	27
音が出ない	● 音量を調節してください。	6
	● 消音を解除してください。	6
	● 接続ケーブルを確実に接続してください。	5
	● 接続機器の電源を入れ、正しく設定してください。	—
	● 「Audio Setting」で「SDI-1 Select」「SDI-2 Select」「HDMI Select」「Component Select」「VIDEO Select」を正しく設定してください。	13
「Out of range」と表示される	● 本機で対応しているフォーマットの信号を入力してください。	8,27
「No Sync」と表示される	● INPUT SELECT ボタンで正しい入力をえらんでください。	7
	● 接続ケーブルを確実に接続してください。	5
	● 接続機器の電源を入れ、映像信号を出力してください。または、接続機器の映像出力環境(ビデオデッキの映像出力設定やパソコンのグラフィックボードなど)を確認してください。	—
	● 各映像調節ノブまたはセットアップメニューの「Picture Sub Adjust」の各項目を調節してください。または設定を初期化してください。	6,16
色がおかしい/色がつかない	● COLOR OFF ボタン、SCREENS CHECK ボタンの設定を確認してください。	7
	● 「Signal Setting」で「Color System」を正しく設定してください。	12
	● セットアップメニューの「White Balance Setting」の各項目を調節してください。もしくは設定を初期化してください。	17
	● 映像調節ノブでCONTRASTやBRIGHTを調節してください。または、セットアップメニューの「Picture Sub Adjust」の項目で「Contrast」や「Bright」を調節してください。	6,16
映像の位置がずれている、 映像のサイズが合っていない	● 1:1 ボタンの設定を確認してください。	7
	● メインメニューの「Aspect」の設定を確認してください。	11
信号によっては、映像を画面いっぱいに広げることができない場合があります。この場合は確実な対応のしかたがありません。あらかじめご了承ください。	● 本機で対応しているフォーマットの信号を入力してください。	27
	● 「Size/Position Adjust」で映像のサイズ(H Size、V Size)・位置(H Position、V Position)を調節してください。	11
本機で操作できない	● セットアップメニューの「Control Lock」を「Off」に設定してください。	17
	● MAKE方式で外部制御している機能は、本機からは操作出来ません。外部制御を無効にしてください。	20

● こんなときは故障ではありません

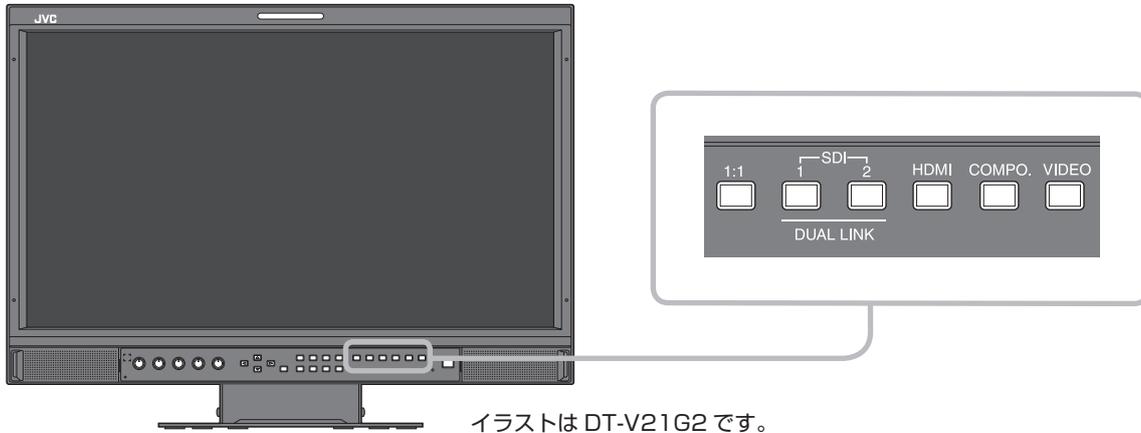
- 静止画を長時間表示していると、映像を切り換えても前の映像がぼんやりと映っていること(残像)がありますが、しばらくすると消えます。また、表示する時間によっては、残像が長期にわたる場合があります。これは、LCD(液晶ディスプレイ)の特性で、故障ではありません。
- 画面上に赤や青、緑の点(輝点)が消えなかったり、黒い点(黒点)がある場合がありますが、故障ではありません。液晶パネルは非常に精密な技術で作られており、ごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素がある場合がありますので、ご了承ください。
- 下記のような場合でも、画面や音声に異常がなければ故障ではありません。
 - 液晶パネルに手を触れると弱い静電気を感じる。
 - 本機の天面や背面の一部が熱くなっている。
 - 本機から「ミシッ」という音がする。
 - 本機の内部から動作音が聞こえる。

困ったときは (つづき)

自己診断表示について

本機には自己診断機能がついています。本機に異常が起きたときに、INPUT SELECTランプで本機の状態をお知らせし、より迅速にサービス対応させていただくための機能です。

INPUT SELECTランプが点滅したら、次の手順でお買い上げ販売店にご相談ください。



画面が消え、正面のINPUT SELECTランプ(COMPO.、VIDEO)が点滅したら...

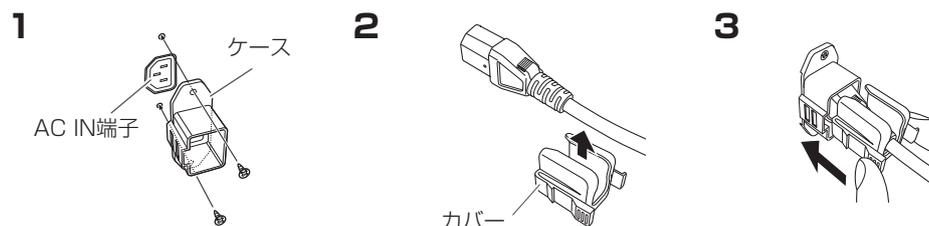
1. どのランプが点滅しているかを確認する
2. 電源ボタンを押してモニターをオフ(スタンバイ)にする
3. DT-V21G2、DT-V17G2: 背面のPOWERスイッチとDCスイッチをオフにする
DT-V24G2、DT-V17G25: 背面のPOWERスイッチをオフにする
4. DT-V21G2、DT-V17G2: AC電源使用時は電源コードを抜く
DC電源使用時はバッテリーを取りはずすか、DC IN端子からプラグを抜く
DT-V24G2、DT-V17G25: 電源コードを抜く
5. お買い上げ販売店に点滅しているランプを知らせる

- 電源を切った後、すぐに電源を入れると、INPUT SELECTボタンが点滅し、映像が映らないことがあります(瞬間的な停電も含まれます)。このような場合は、一度電源を切り、10秒以上待ってから再び電源を入れてください。
INPUT SELECTランプが点滅しなければ、そのままご使用ください。
- セットアップメニューの「Standby Mode」が「Normal」のときにモニターをオフ(スタンバイ)にすると自己診断機能は動きません。

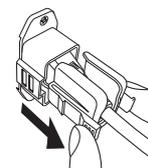
電源コードホルダーの取り付けかた

電源コードが抜けるのを防ぐため、本機の背面に電源コードホルダー(付属品)を取り付けます。

- ホルダーはケースとカバーの2つで構成されています。



カバーをはずすときは...



ご注意

- 付属のネジ以外は使用しないでください。
- カバーをケースにはめこんでから、プラグが抜けないかどうかをご確認ください。

仕様

一般

型名	DT-V24G2	DT-V21G2	DT-V17G2	DT-V17G25
種類	液晶マルチフォーマットモニター			
画面サイズ	24V型ワイド	21.5V型ワイド	16.5V型ワイド	
アスペクト比	16:10	16:9		
水平/垂直周波数(パソコン信号)	水平: 31.467 kHz - 75.000 kHz 垂直: 49.990 Hz - 75.062 Hz * この周波数の範囲内でも信号によっては映らない場合があります、「Out of range」と表示されます。			
対応映像信号フォーマット	☞ 27ページ「対応信号フォーマット」			
適用規格	3G SDI: SMPTE424M/SMPTE425M DUAL LINK HD SDI: SMPTE372M HD SDI: BTA S-004C, SMPTE292M SD SDI: ITU-R BT.656: 525/625 SMPTE259M: 525 EMBEDDED AUDIO: SMPTE299M, SMPTE272M			
音声出力	内部スピーカー: 1.0 W + 1.0 W			
動作使用条件	温度 5℃~35℃ 湿度 20%~80%(非結露) (動作使用条件は設置環境により多少異なります。)			
使用電源	AC 100 V, 50 Hz/60 Hz共用	AC 100 V, 50 Hz/60 Hz共用 または DC 12 V - 17 V		AC 100 V, 50 Hz/60 Hz共用
定格電流	0.85 A(AC 100 Vのとき)	0.71 A(AC 100 Vのとき) 5.0 A(DC 12 V - 17 Vのとき)	0.55 A(AC 100 Vのとき) 3.7 A(DC 12 V - 17 Vのとき)	0.62 A(AC 100 Vのとき)
外形寸法 (突起部除く)	スタンドを含む	横幅: 56.4 cm 高さ: 44.86 cm 奥行: 24.3 cm	横幅: 51.5 cm 高さ: 38.76 cm 奥行: 21.29 cm	横幅: 43 cm 高さ: 34.96 cm 奥行: 21.29 cm
	本体のみ	横幅: 56.4 cm 高さ: 40.8 cm 奥行: 9.87 cm	横幅: 51.5 cm 高さ: 34.7 cm 奥行: 9.98 cm	横幅: 43 cm 高さ: 30.9 cm 奥行: 10.2 cm
質量	10.6 kg(スタンドを含む) 7.7 kg(本体のみ)	8.6 kg(スタンドを含む) 6.2 kg(本体のみ)	8.2 kg(スタンドを含む) 5.8 kg(本体のみ)	8.3 kg(スタンドを含む) 5.9 kg(本体のみ)
付属品	電源コード(3極)×1、電源コード(アース線付き2極)×1、電源コードホルダー×1、ネジ(電源コードホルダー用)×2、取扱説明書×1			

液晶パネル

種類	24型ワイド、アクティブマトリックス TFT	21型ワイド、アクティブマトリックス TFT	17型ワイド、アクティブマトリックス TFT
有効画面寸法	横幅: 51.84 cm 高さ: 32.40 cm 対角: 61.13 cm	横幅: 47.61 cm 高さ: 26.78 cm 対角: 54.62 cm	横幅: 36.58 cm 高さ: 20.57 cm 対角: 41.97 cm
表示画素数(解像度)	1920×1200ピクセル	1920×1080ピクセル	
表示色数	約1073億色	約1677万色	約1073億色
視野角(標準値)	左右: 178° 上下: 178°		
輝度(標準値)	400 cd/m ²	300 cd/m ²	450 cd/m ²
コントラスト比(標準値)	1500:1		

入出力端子

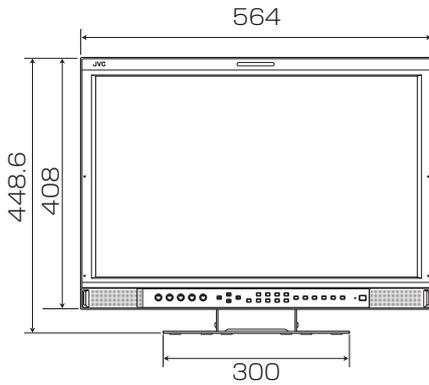
映像	VIDEO	コンポジット信号入出力: 1系統、BNCコネクター×2、1 V(p-p)、75 Ω ※INとOUTはブリッジ接続(自動終端)
	HDMI	HDMI信号入力(HDCP対応): HDMIコネクター×1
	COMPO. (Y, PB/B-Y, PR/R-Y)	アナログコンポーネント信号: 1系統、Y: 1 V(p-p)、75 Ω(同期信号含む) PB/B-Y, PR/R-Y: 0.7 V(p-p)、75 Ω
	3G/HD/SD SDI (IN 1)	デジタル信号入力(EMBEDDED AUDIO/DUAL LINK対応): 自動検知、2系統、BNCコネクター×2
	3G/HD/SD SDI (IN 2)	
	3G/HD/SD SDI (OUT 1)	デジタル信号出力(EMBEDDED AUDIO対応): 1系統、BNCコネクター×1
音声	3G/HD/SD SDI (OUT 2: SWITCHED OUT)	デジタル信号出力(EMBEDDED AUDIO対応): 1系統スイッチドアウト、BNCコネクター×1
	AUDIO ASSIGN (IN 1)	アナログ音声信号入力: 2系統、RCAコネクター×2、ステレオミニジャック×1、500 mV(rms)、ハイインピーダンス
	AUDIO ASSIGN (IN 2)	
外部制御	AUDIO ASSIGN (MONITOR OUT)	アナログ音声信号出力: 1系統、RCAコネクター×2、500 mV(rms)
	REMOTE (MAKE/TRIGGER)	☞ 20ページ「MAKE/TRIGGER方式での外部制御」
	REMOTE (RS-485) REMOTE (RS-232C)	☞ 21ページ「シリアル方式での外部制御」

仕様 (つづき)

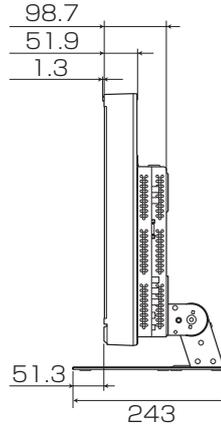
外形寸法図 (単位:mm)

DT-V24G2

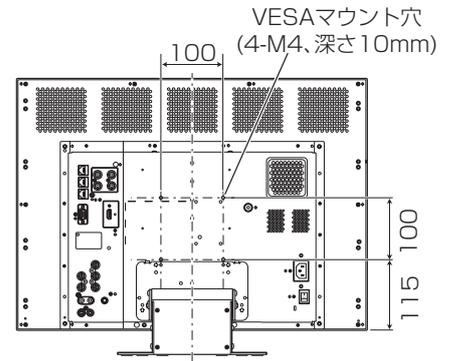
<正面>



<側面>

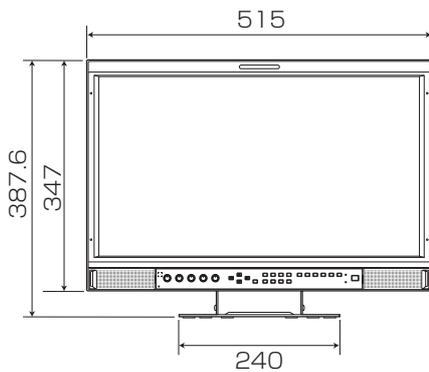


<背面>

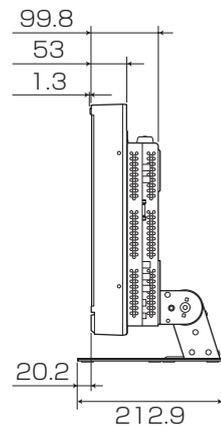


DT-V21G2

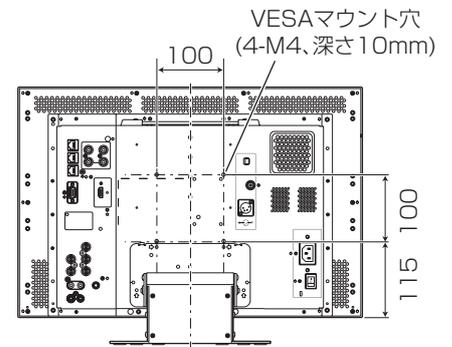
<正面>



<側面>

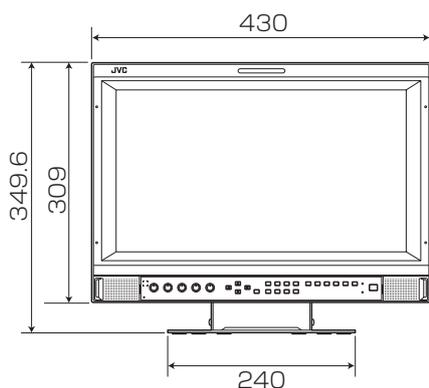


<背面>

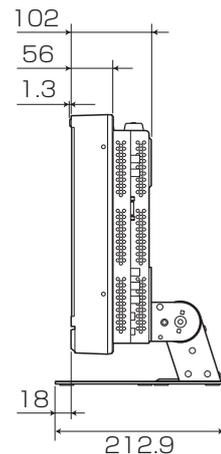


DT-V17G2、DT-V17G25 (イラストはDT-V17G2です。)

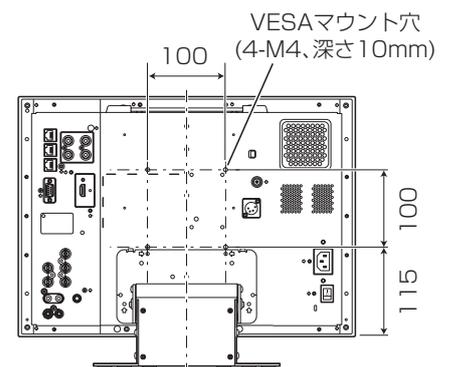
<正面>



<側面>



<背面>



輸送上のお願い

本機は精密機器のため、輸送時には専用の包装材が必要になります。当社指定以外の包装材は使用しないでください。

- 本機を使用できるのは日本国内のみで、外国ではカラー方式、電源電圧が異なりますので使用できません。
This monitor set is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
- 画面サイズのV型(24V型等)は、有効画面の対角寸法を基準とした目安です。
- 写真や図は、説明をわかりやすくするために誇張、省略、合成をしていますので、実物とは多少異なる場合があります。
- 仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。
- 本機は「高調波電流規格 JIS C 61000-3-2適合品」です。
- その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

対応信号フォーマット

本機は以下の信号フォーマット入力・再生できます。

ビデオ信号

○:入力可
—:入力不可

No.	名称	ステータス表示の信号 フォーマット (※8ページ) ^{注1}	入力端子					
			VIDEO	COMPO.	3G/HD/SD SDI (IN 1, IN 2) ^{注2}			HDMI
					SD/HD (1.5G)	3G SDI	DUAL LINK	
1	NTSC	NTSC	○	—	—	—	—	—
2	NTSC 4.43	N 4.43	○	—	—	—	—	—
3	PAL-M	PAL-M	○	—	—	—	—	—
4	PAL60	PAL60	○	—	—	—	—	—
5	PAL	PAL	○	—	—	—	—	—
6	PAL-N	PAL-N	○	—	—	—	—	—
7	SECAM	SECAM	○	—	—	—	—	—
8	B/W50	B/W50	○	—	—	—	—	—
9	B/W60	B/W60	○	—	—	—	—	—
10	480/60i	480/60i	—	○	—	—	—	○
11	480/59.94i	480/59.94i	—	○	○	—	—	○
12	576/50i	576/50i	—	○	○	—	—	○
13	480/60p	480/60p	—	○	—	—	—	○
14	480/59.94p	480/60p	—	○	—	—	—	○
15	576/50p	576/50p	—	○	—	—	—	○
16	640*480/60p	640*480/60p	—	—	—	—	—	○
17	640*480/59.94p	640*480/60p	—	—	—	—	—	○
18	720/60p	720/60p	—	○	○	○	—	○
19	720/59.94p	720/59.94p	—	○	○	○	—	○
20	720/50p	720/50p	—	○	○	○	—	○
21	720/30p	720/30p	—	—	○	○	—	—
22	720/29.97p	720/29.97p	—	—	○	○	—	—
23	720/25p	720/25p	—	—	○	○	—	—
24	720/24p	720/24p	—	—	○	○	—	—
25	720/23.98p	720/23.98p	—	—	○	○	—	—
26	1080/60i	1080/60i	—	○	○	○	○	○
27	1080/59.94i	1080/59.94i	—	○	○	○	○	○
28	1035/60i	1035/60i	—	—	○	—	—	○
29	1035/59.94i	1035/59.94i	—	—	○	—	—	○
30	1080/50i	1080/50i	—	○	○	○	○	○
31	1080/60p	1080/60p	—	○	—	○	○	○
32	1080/59.94p	1080/60p	—	○	—	○	○	○
33	1080/50p	1080/50p	—	○	—	○	○	○
34	1080/30p	1080/30p	—	—	○	○	○	○
35	1080/29.97p	1080/29.97p	—	—	○	○	○	○
36	1080/25p	1080/25p	—	—	○	○	○	○
37	1080/24p	1080/24p	—	—	○	○	○	○
38	1080/23.98p	1080/23.98p	—	—	○	○	○	○
39	1080/30PsF	1080/30PsF	—	—	○ ^{注6}	○ ^{注3}	○ ^{注3}	—
40	1080/29.97PsF	1080/29.97PsF	—	—	○ ^{注7}	○ ^{注4}	○ ^{注4}	—
41	1080/25PsF	1080/25PsF	—	—	○	○	○	—
42	1080/24PsF	1080/24PsF	—	—	○	○	○	—
43	1080/23.98PsF	1080/23.98PsF	—	—	○ ^{注8}	○ ^{注5}	○ ^{注5}	—

● PC信号は主要フォーマットに対応しています。

注1 3G/HD/SD SDI入力以外の信号フォーマットのステータス表示で、**/59.94、**/29.97、**/23.98はそれぞれ、**/60、**/30、**/24と表示されます。

注2 EMBEDDED AUDIO信号対応。

注3 ペイロードIDがない場合は、1080/60iとみなされ、「1080/60i」とステータスが表示されます。

注4 ペイロードIDがない場合は、1080/59.94iとみなされ、「1080/59.94i」とステータスが表示されます。

注5 ペイロードIDがない場合は、1080/50iとみなされ、「1080/50i」とステータスが表示されます。

注6 1080/60iとみなされ、「1080/60i」とステータスが表示されます。

注7 1080/59.94iとみなされ、「1080/59.94i」とステータスが表示されます。

注8 1080/50iとみなされ、「1080/50i」とステータスが表示されます。

● HDMI、HDMIロゴおよび、High-Definition Multimedia Interfacelは、HDMI Licencing,LLCの米国及びその他の国における商標または登録商標です。

● HDCPはHigh-bandwidth Digital Content Protectionの略称で、Digital Content Protection,LLCが認可する信頼性の高い著作権保護技術です。

保証とアフターサービス

保証書の記載内容で確認と保存について

本機には保証書を別途添付しております。保証書には「お買い上げ日・販売店名」等の記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。保証期間は、お買い上げの日から1年間です。保証書の記載内容により、お買い上げ販売店が修理いたします。なお、修理保証以外の補償はいたしかねます。故障その他あらゆる営業上の機会損失は補償いたしません。その他詳細は保証書をご覧ください。

サービス窓口

修理をご依頼の際は、以下のサービス窓口にご連絡ください。

- 右記URLをご覧ください。<http://www3.jvckenwood.com/pro/service.html>
- カスタマーサポートセンター(045-939-7320)

サービスについてのお問い合わせ先

修理・保守・設置工事については、お買い上げ販売店、または最寄りのサービス窓口にご相談ください。

修理を依頼されるときは

修理をご依頼になる前に、「困ったときは」(P.23 ページ)に従って確認をしてください。それでも不具合や異常があるときは、本機の電源を切り、電源プラグを抜いてからお買い上げの販売店またはサービス窓口にご連絡ください。

- 保証期間中は
修理の際は保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って修理させていただきます。
- 保証期間が過ぎているときは
お買い上げ販売店にご相談ください。
修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。
- 修理料金のしくみ

■ ご連絡していただきたい内容

品名	表紙参照
型名	表紙参照
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印等も合わせて
お名前	
電話番号	() -
訪問ご希望日	

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
-----	------------------------

+

部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
-----	--

+

出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。
-----	--

商品の廃棄について

本機を廃棄する場合は、法令や地域の条例に従って適切に処理してください。

愛情点検

●長年ご使用のモニター・ディスプレイ・テレビの点検をぜひ!

熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合により部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。



このような
症状は
ありませんか

- 電源スイッチを入れても映像や音が出ない。
- 上下、または左右の映像が欠けて映る。
- 映像が時々、消えることがある。
- 変なにおいがしたり、煙が出たりする。
- 電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。



ご使用中

故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグをはずして必ず販売店にご相談ください。

JVCケンウッド カスタマーサポートセンター

固定電話 0120-2727-87

携帯電話・PHS 0570-010-114

一部のIP電話など 045-450-8950

FAX 045-450-2308

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

ご相談窓口におけるお客様の個人情報は、お問合せへの対応、修理およびその確認に使用し、適切に管理を行い、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。

ホームページ <http://www3.jvckenwood.com/>

株式会社 JVCケンウッド

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12